

日本人の河川環境に関する意識アンケート調査結果

アンケート調査の概要

【調査目的】

- ・日本人は、川に対してどのような意識をもち、何を望んでいるか確認するとともに、過去の調査結果と比較して、川に対する意識の変化を把握する。

【調査方法】

- ・現在の人口統計を踏まえ、地方・年代別の回答比率（回答数：2000）を設定した、ウェブアンケート（調査期間：平成28年12月27日～平成29年1月5日）

【調査結果の内訳】

地方・年代	20代		30代		40代		50代		60代以上		計	
北海道	10	0.6 %	12	0.6 %	14	0.8 %	13	0.7 %	39	2.0 %	88	4.7 %
東北	15	0.8 %	20	1.0 %	22	1.2 %	24	1.2 %	64	3.2 %	145	7.4 %
関東	85	4.3 %	108	5.4 %	130	6.6 %	99	5.0 %	253	12.7 %	675	34.0 %
北陸	14	0.8 %	18	1.0 %	22	1.2 %	20	1.0 %	59	3.0 %	133	7.0 %
中部	27	1.4 %	35	1.8 %	43	2.2 %	35	1.8 %	93	4.7 %	233	11.9 %
近畿	38	2.0 %	47	2.4 %	59	3.0 %	47	2.4 %	131	6.6 %	322	16.4 %
中国	12	0.6 %	16	0.8 %	20	1.0 %	17	0.9 %	52	2.7 %	117	6.0 %
四国	6	0.4 %	8	0.4 %	10	0.6 %	9	0.5 %	28	1.4 %	61	3.3 %
九州	25	1.3 %	33	1.7 %	36	1.8 %	35	1.8 %	97	4.9 %	226	11.5 %
計	232	12.2 %	297	15.1 %	356	18.4 %	299	15.3 %	816	41.2 %	2000	100 %

【調査項目】 質問、～ は、過去の世論調査との比較項目

身近な川のイメージ、理想の川のイメージ、川への要望（自然）、川への要望（利用）、川の利用実態、川に求める役割、水辺づくりに期待すること、護岸整備に対する要望、流域活動への参加要望、河川整備に対する考え

1. 市民の身近な川のイメージ

Q1:あなたが思い浮かべる身近な「川」をこの中から1つ選んでください。

Q2:あなたが思い浮かべる理想の「川」をこの中から1つ選んでください。

緑豊かな風景（山間部）



緑豊かな風景（都市部）



護岸の目立つ河川（都市部）



護岸の目立つ河川（田園部）



緑豊かな風景（渓流部）



公園的な風景（都市部）



コンクリート護岸（河口域）



護岸の目立つ河川（山間部）



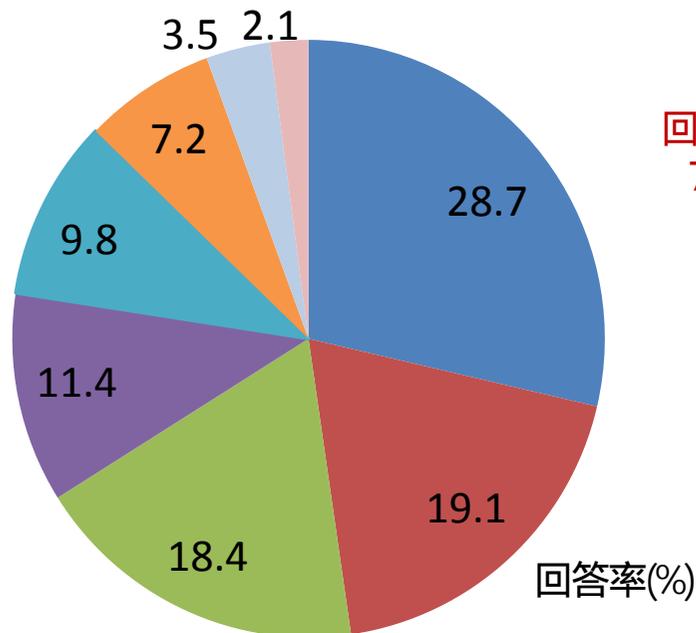
アンケート画面では写真のみで選択

1. 市民の身近な川のイメージ

Q1:あなたが思い浮かべる身近な「川」をこの中から1つ選んでください。

- ・市民の身近な川のイメージは、“**緑豊かな風景（都市部）**” (29%)が最も多い。
- ・次いで、“**護岸の目立つ河川（都市部）**” (19%)、“**公園的な風景（都市部）**” (18%)。
- ・身近な川として、“**都市部**”の川のイメージが、回答の7割を占める。

【回答率(%)】



回答の
7割

- 緑豊かな風景(都市部)
- 護岸の目立つ河川(都市部)
- 公園的な風景(都市部)
- 護岸の目立つ河川(田園部)
- 緑豊かな風景(山間部)
- 護岸の目立つ河川(山間部)
- コンクリート護岸(河口域)
- 緑豊かな風景(渓流部)



緑豊かな風景（都市部）



護岸の目立つ河川（都市部）



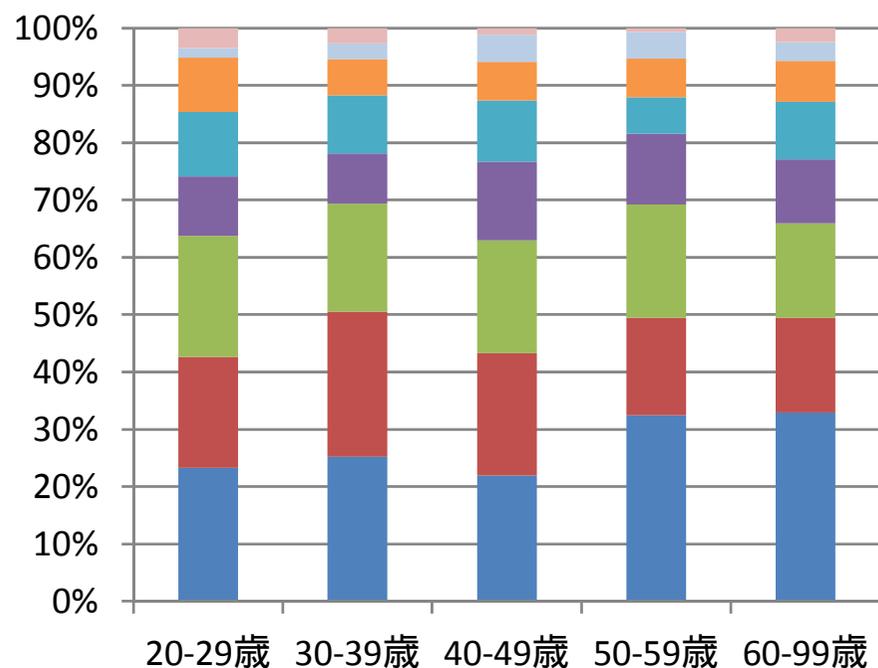
公園的な風景（都市部）

1. 市民の身近な川のイメージ（年代別整理）

Q1:あなたが思い浮かべる身近な「川」をこの中から1つ選んでください。

- 市民の身近な川のイメージを年代別に整理すると、全体的な傾向に大きな違いは見られない。

【年代別回答率(%)】



- 緑豊かな風景(渓流部)
- コンクリート護岸(河口域)
- 護岸が目立つ河川(山間部)
- 緑豊かな風景(山間部)
- 護岸が目立つ河川(田園部)
- 公園的な風景(都市部)
- 護岸が目立つ河川(都市部)
- 緑豊かな風景(都市部)



緑豊かな風景(都市部)



護岸が目立つ河川(都市部)



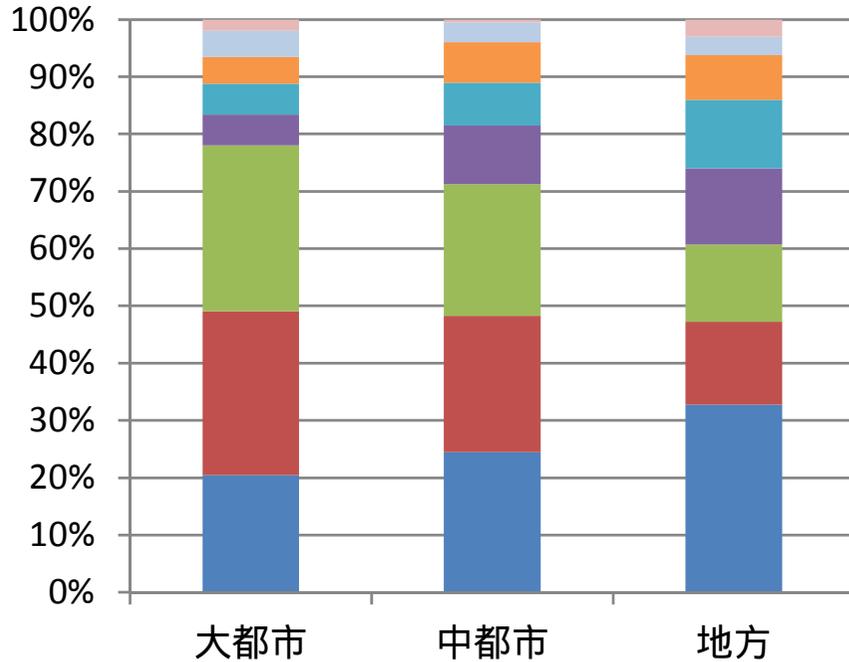
公園的な風景(都市部)

1. 市民の身近な川のイメージ（都市・地方別整理）

Q1:あなたが思い浮かべる身近な「川」をこの中から1つ選んでください。

- ・市民の身近な川のイメージを都市・地方別に整理すると、地方に比べて都市部は、“緑豊かな風景（都市部）”が少なく、“護岸の目立つ河川（都市部）”や“公園的な風景（都市部）”が多い。
- ・住んでいる地域の違いが、市民の川のイメージに反映されていることが伺える。

【都市・地方別回答率(%)】



大都市：東京（回答数割合13%）
 中都市：神奈川、大阪、愛知、埼玉、千葉（回答数割合30%）
 地方：上記それ以外（回答数割合57%） 都道府県人口で設定



緑豊かな風景（都市部）



護岸の目立つ河川（都市部）



公園的な風景（都市部）

2 . 市民の理想の川のイメージ

Q2:あなたが思い浮かべる理想の「川」をこの中から1つ選んでください。

- ・市民の理想の川のイメージは、“緑豊かな風景（山間部）”(40%)が最も多い。
- ・次いで、“緑豊かな風景（都市部）”(24%)、“緑豊かな風景（溪流部）”(20%)。
- ・理想の川として、“緑豊かな風景”の川のイメージが、回答の8割を占めており、緑が川の重要な要素であることが伺える。



緑豊かな風景（山間部）

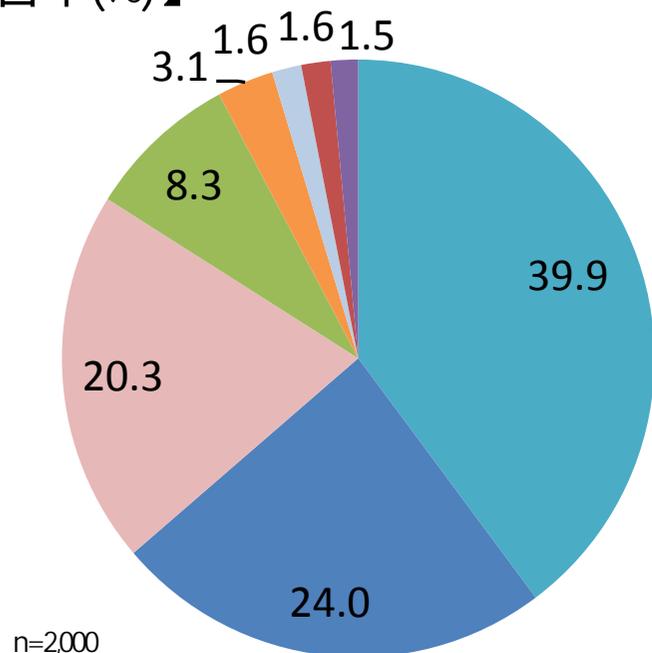


緑豊かな風景（都市部）



緑豊かな風景（溪流部）

【回答率(%)】



回答の
8割

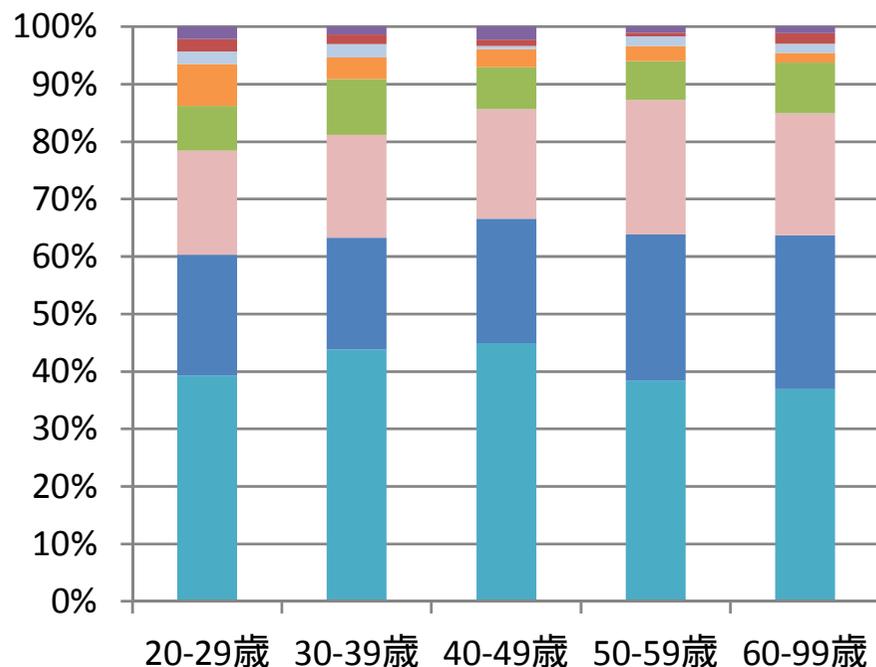
- 緑豊かな風景(山間部)
- 緑豊かな風景(都市部)
- 緑豊かな風景(溪流部)
- 公園的な風景(都市部)
- 護岸が目立つ河川(山間部)
- コンクリート護岸(河口域)
- 護岸が目立つ河川(都市部)
- 護岸が目立つ河川(田園部)

2 . 市民の理想の川のイメージ（年代別整理）

Q2:あなたが思い浮かべる理想の「川」をこの中から1つ選んでください。

- 市民の理想の川のイメージを年代別に整理すると、全体的な傾向に大きな違いは見られない。

【年代別回答率(%)】



緑豊かな風景（山間部）



緑豊かな風景（都市部）



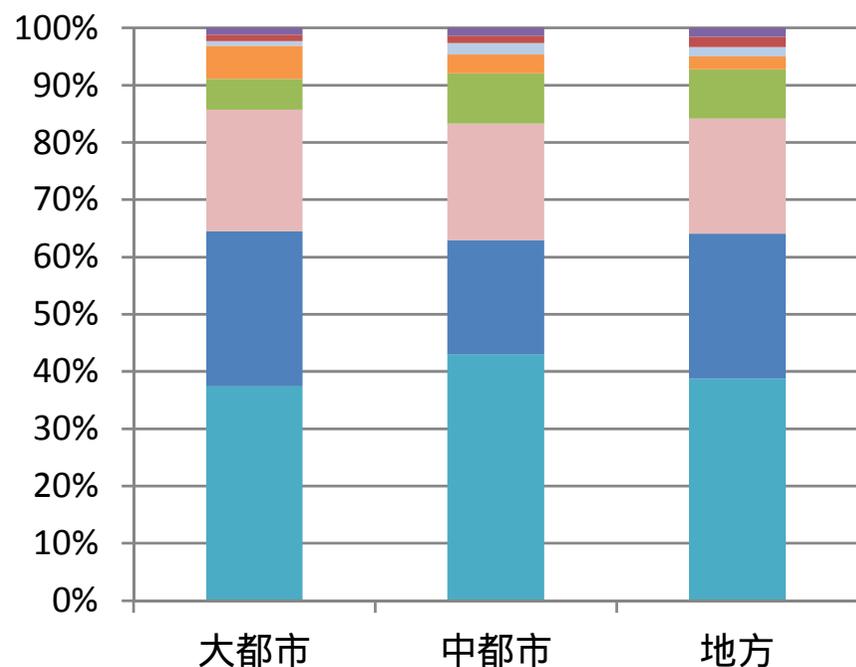
緑豊かな風景（溪流部）

2. 市民の理想の川のイメージ（都市・地方別整理）

Q2:あなたが思い浮かべる理想の「川」をこの中から1つ選んでください。

- 市民の理想の川のイメージを都市・地方別に整理すると、全体的な傾向に大きな違いはない。

【都市・地方別回答率(%)】



大都市：東京（回答数割合13%）
中都市：神奈川、大阪、愛知、埼玉、千葉（回答数割合30%）
地方：上記それ以外（回答数割合57%） 都道府県人口で設定



緑豊かな風景（山間部）



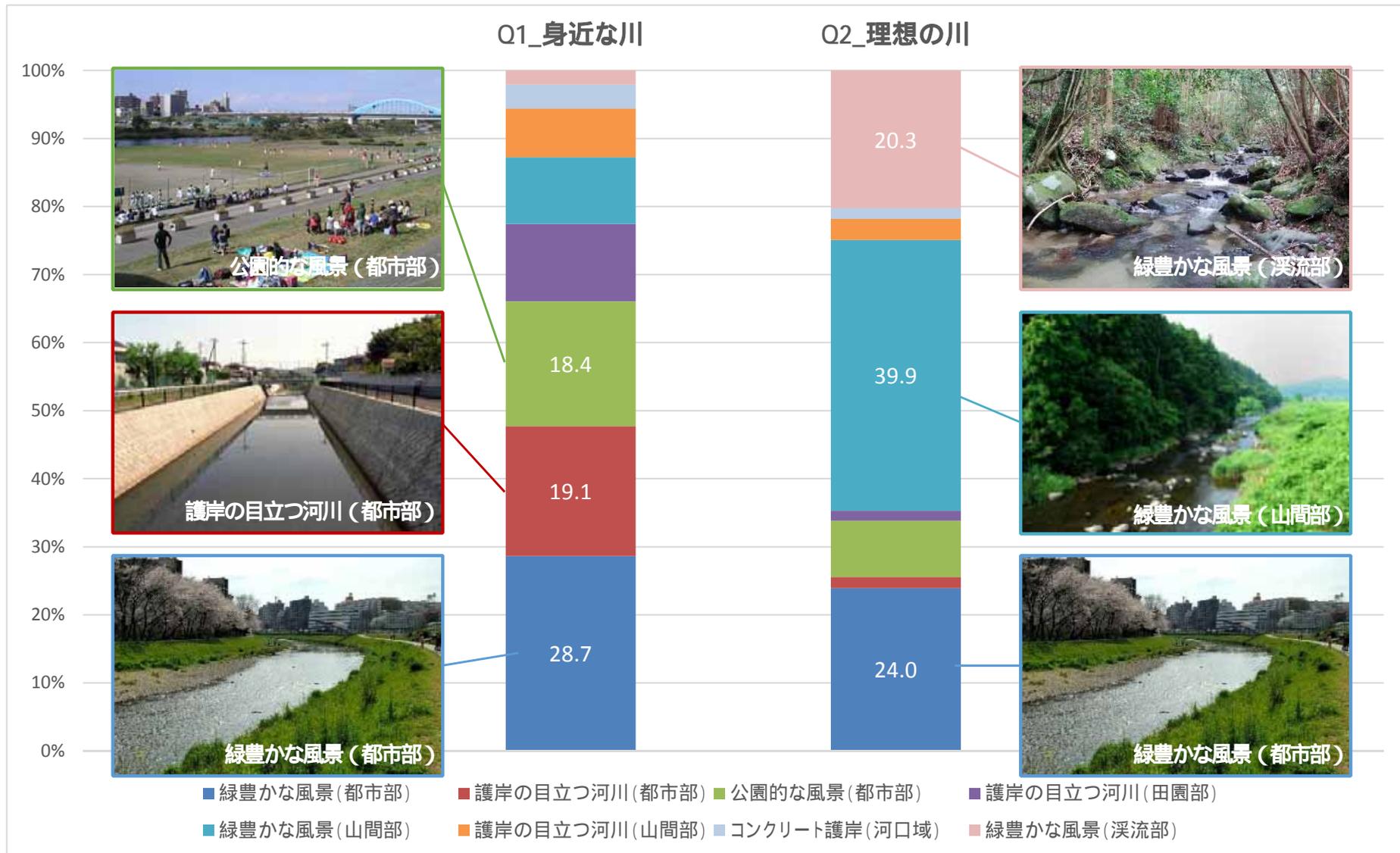
緑豊かな風景（都市部）



緑豊かな風景（渓流部）

市民の“身近な川”と“理想の川”のイメージ (Q1とQ2の比較)

- 市民の身近な川 (Q1) と理想の川 (Q2) のイメージを比較すると、身近な川では「都市部」の川が多く、理想の川では「緑豊かな風景」の川が多くなっている。
- 市民の身近な川が、理想の川のイメージとは異なっていることが伺える。

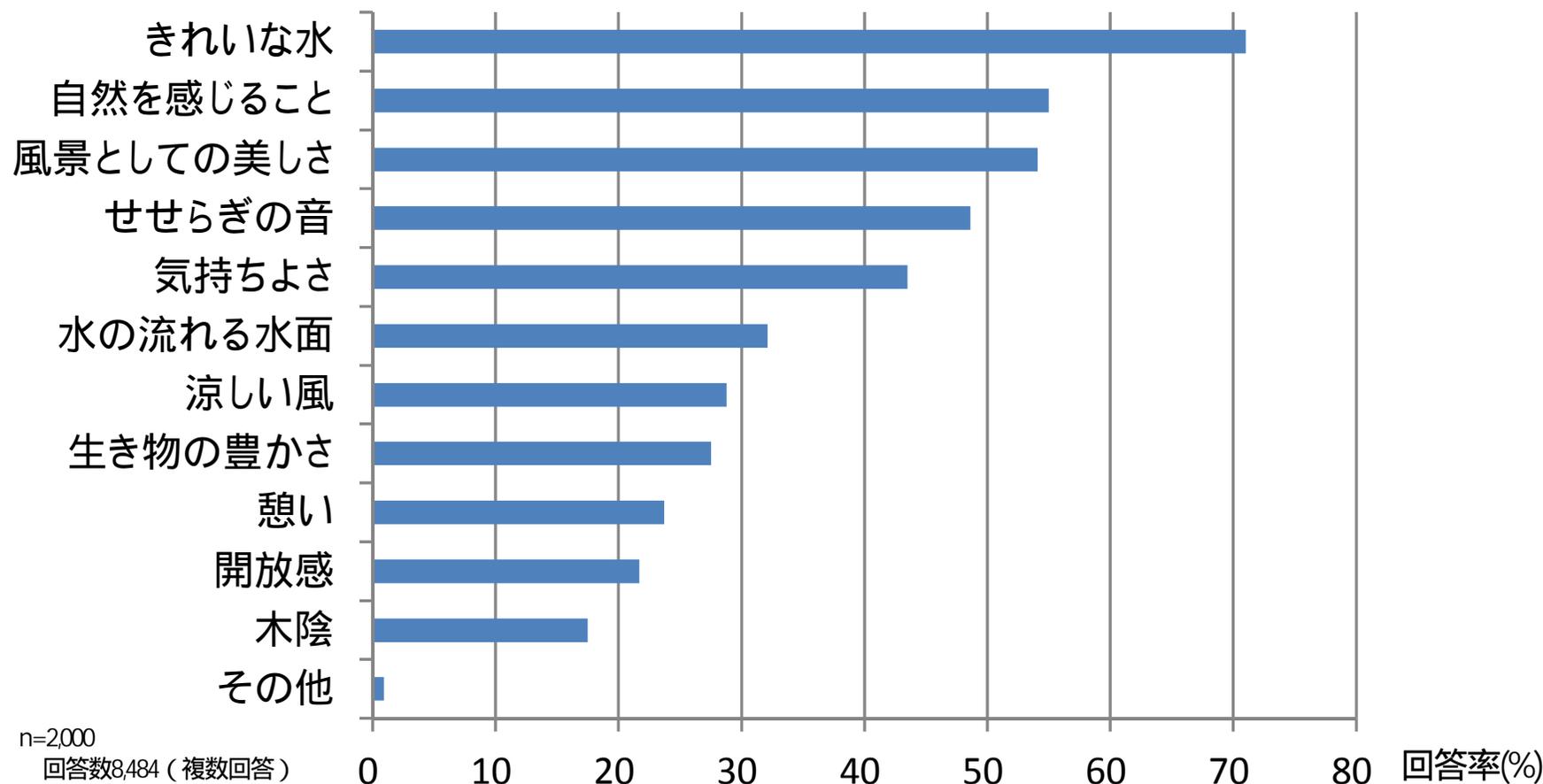


3 . 市民の川への要望（自然）

Q3:あなたが川に求めることはなんですか。この中からいくつでもあげてください。

- ・市民の川への要望は、“きれいな水”(71%)が最も多い。
- ・次いで、“自然を感じること”(55%)、“風景としての美しさ”(54%)。
- ・それぞれの10項目に対して20%程度以上の回答があることから、川への要望は多様であることが伺える。

【回答率(%)】

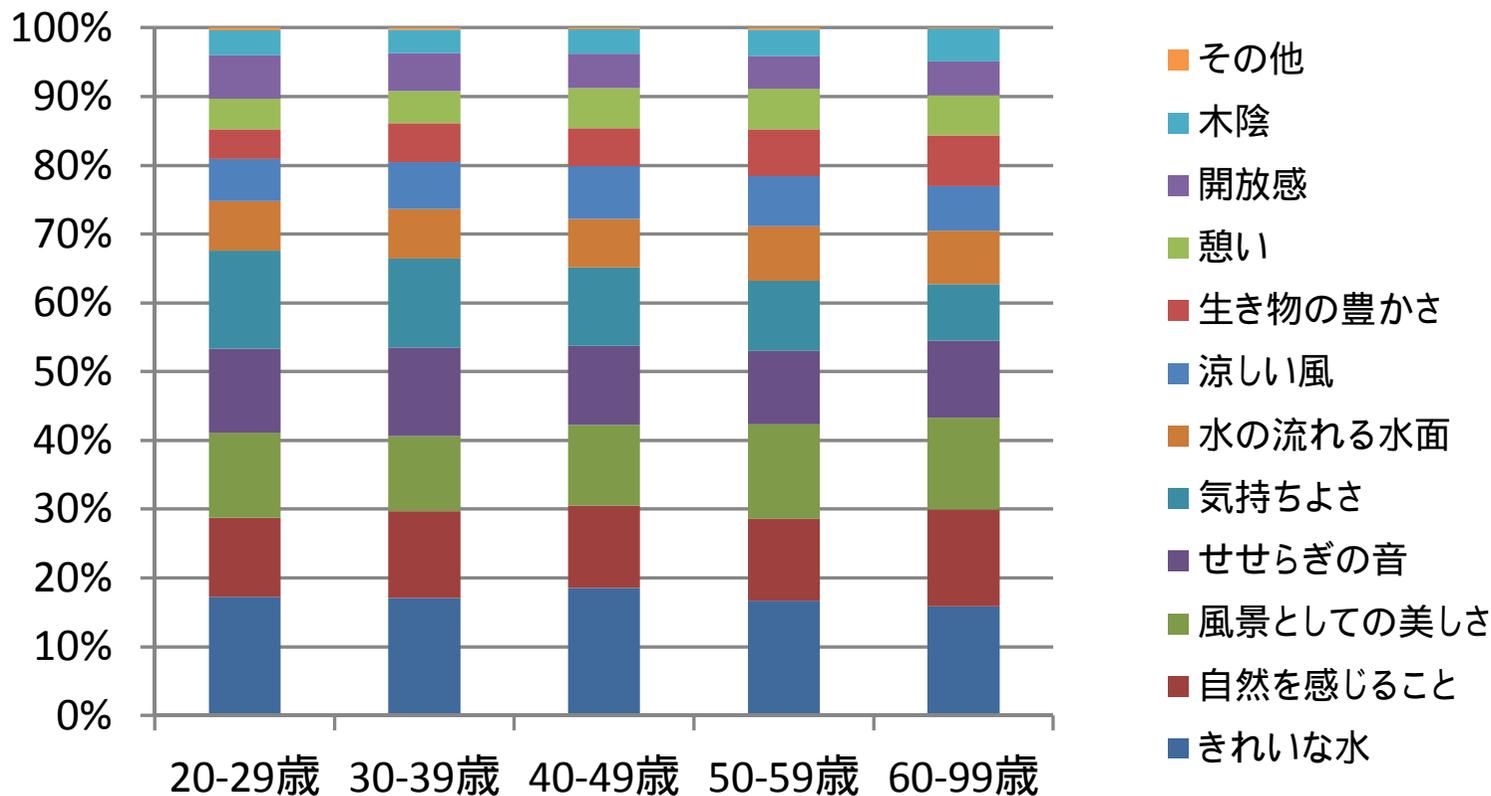


3 . 市民の川への要望（自然）（年代別整理）

Q3:あなたが川に求めることはなんですか。この中からいくつでもあげてください。

- ・市民の川の自然への要望を年代別に整理すると、全体的な傾向に大きな違いは見られない。

【年代別回答率(%)】



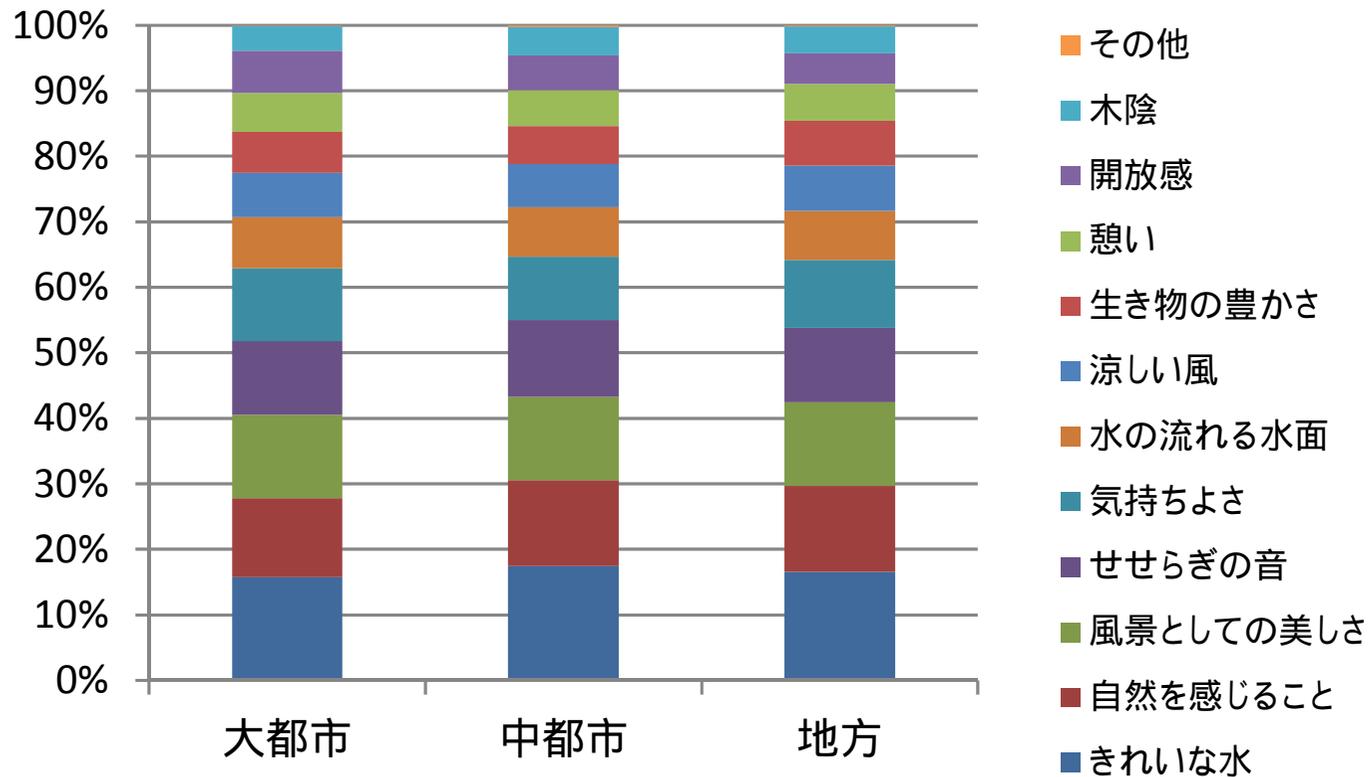
n=2,000 回答数8,484 (複数回答)

3 . 市民の川への要望（自然）（都市・地方別整理）

Q3:あなたが川に求めることはなんですか。この中からいくつでもあげてください。

- 市民の川の自然への要望を都市・地方別に整理すると、全体的な傾向に大きな違いは見られない。

【都市・地方別回答率(%)】



n=2,000 回答数8,484 (複数回答)

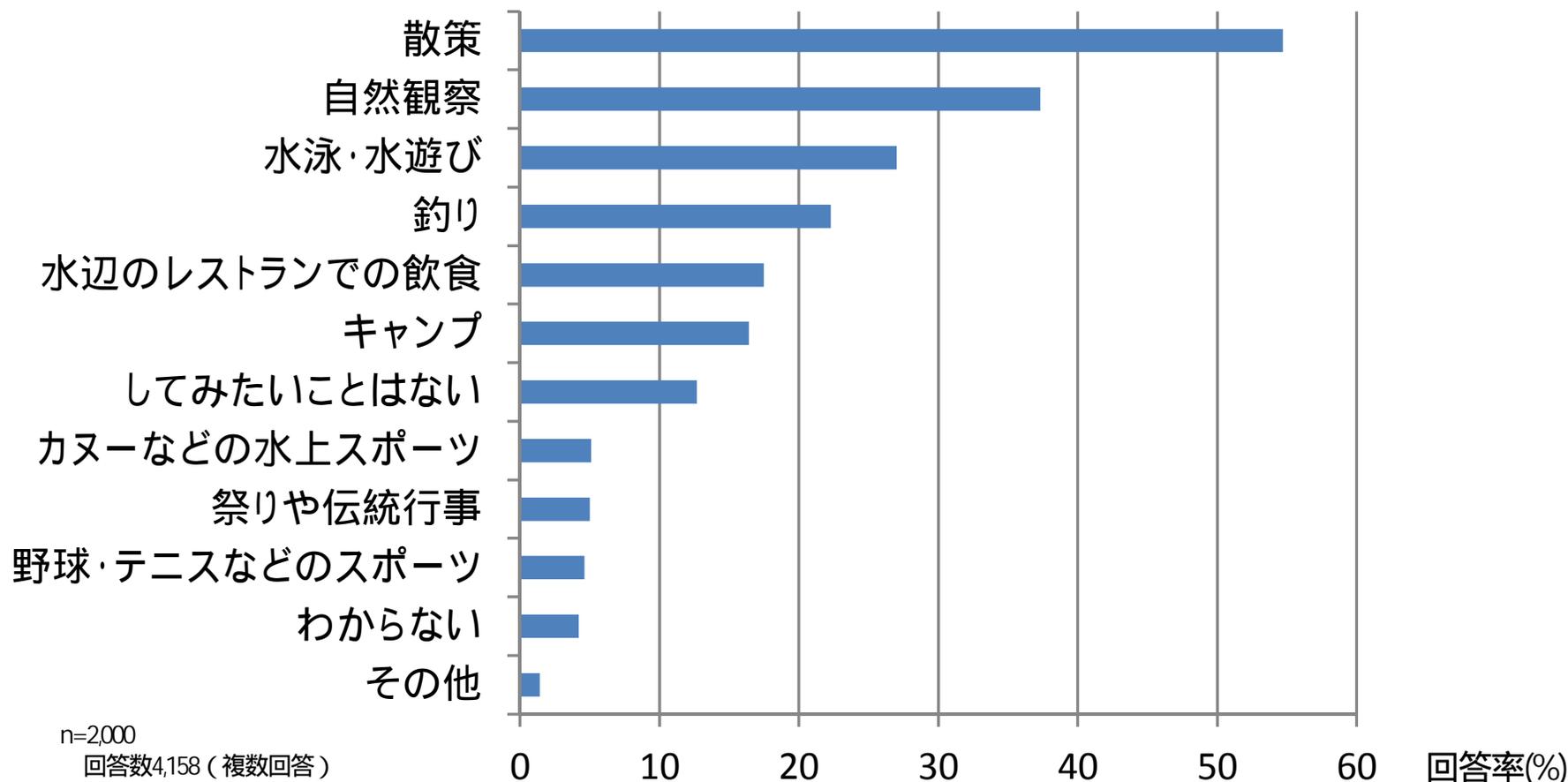
大都市：東京（回答数割合13%）
中都市：神奈川、大阪、愛知、埼玉、千葉（回答数割合30%）
地方：上記それ以外（回答数割合57%） 都道府県人口で設定

4 . 市民の川への要望（利用）

Q4:あなたは、河川や河川敷でどのようなことをしてみたいですか。
この中からいくつかでもあげてください。

- ・市民の川の利用への要望は、“**散策**”(55%)が最も多い。
- ・次いで、“**自然観察**”(37%)、“**水泳・水遊び**”(27%)。
- ・川の自然と親しむ利用（散策、自然観察、水泳・水遊び、釣り）への要望が多い。

【回答率(%)】

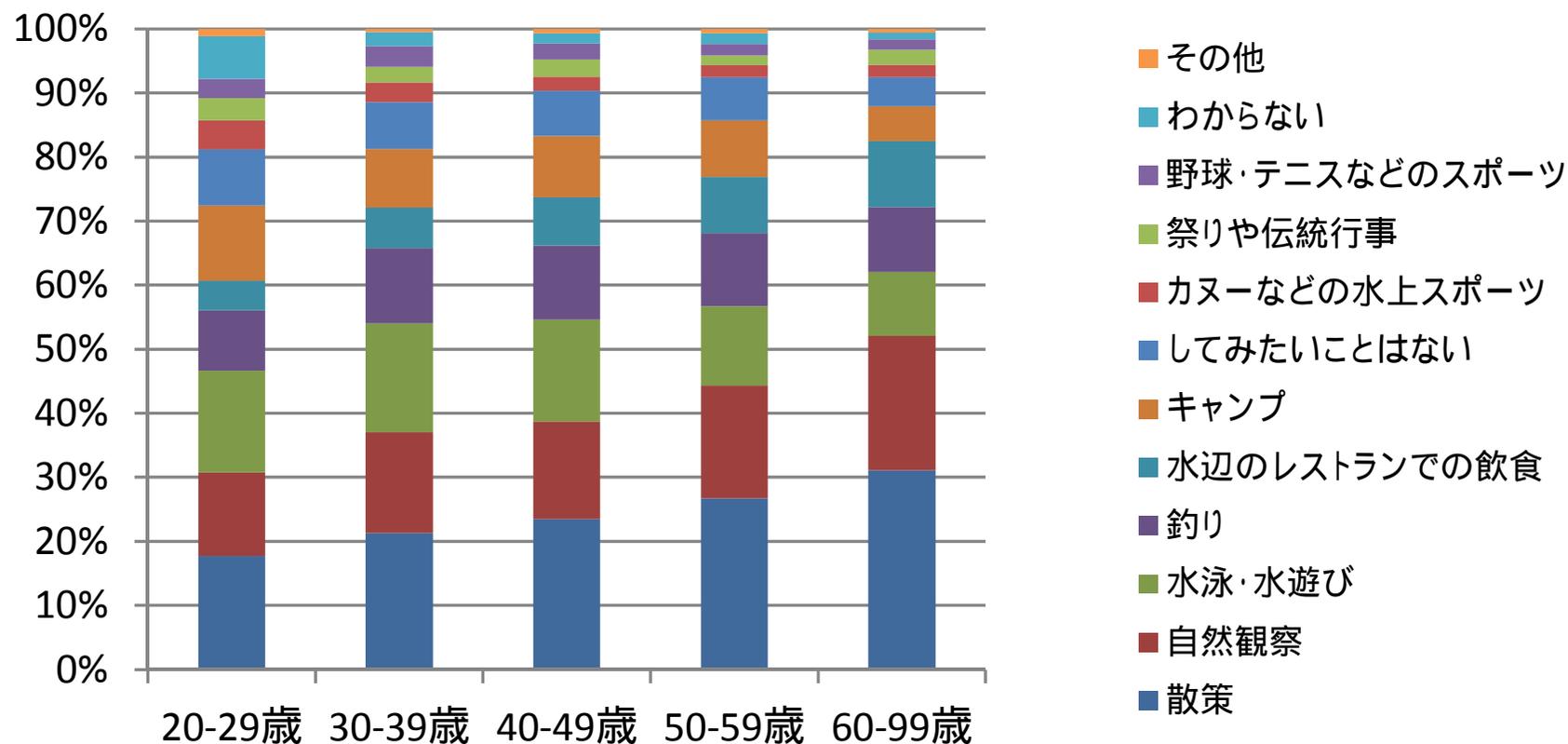


4 . 市民の川への要望（利用）（年代別整理）

Q4:あなたは、河川や河川敷でどのようなことをしてみたいですか。
この中からいくつでもあげてください。

- ・市民の川の利用への要望を年代別に整理すると、年代が上がるに従って、“散策”、“自然観察”、“水辺のレストランでの飲食”の回答が多くなる傾向が見られる。
- ・川の利用への要望は年代によって異なることが伺える。

【年代別回答率(%)】



n=2,000

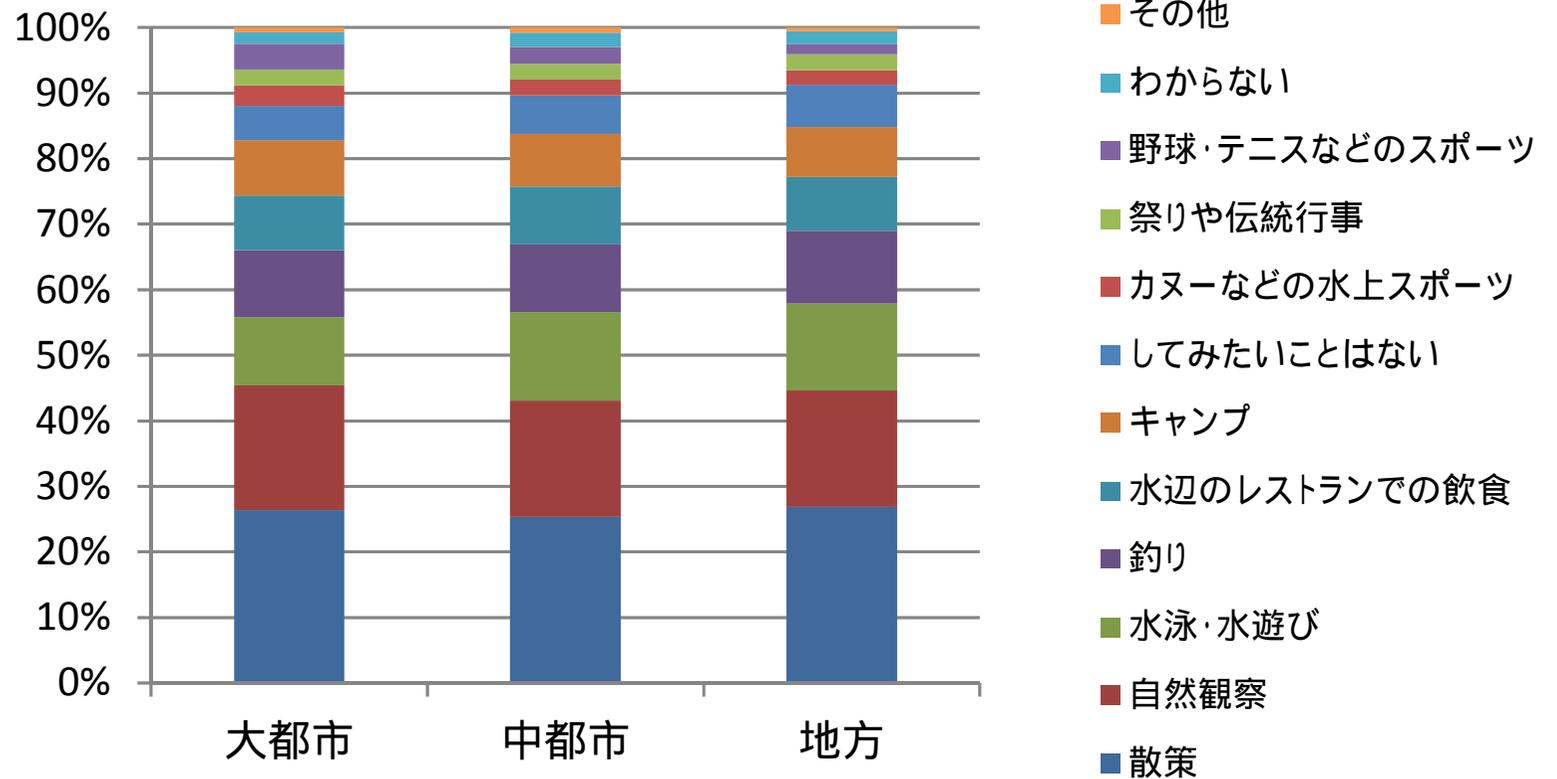
回答数4,158 (複数回答)

4 . 市民の川への要望（利用）（都市・地方別整理）

Q4:あなたは、河川や河川敷でどのようなことをしてみたいですか。
この中からいくつでもあげてください。

- ・市民の川の利用への要望を都市・地方別に整理すると、全体的な傾向に大きな違いは見られない。

【都市・地方別回答率(%)】



n=2,000 回答数4,158 (複数回答)

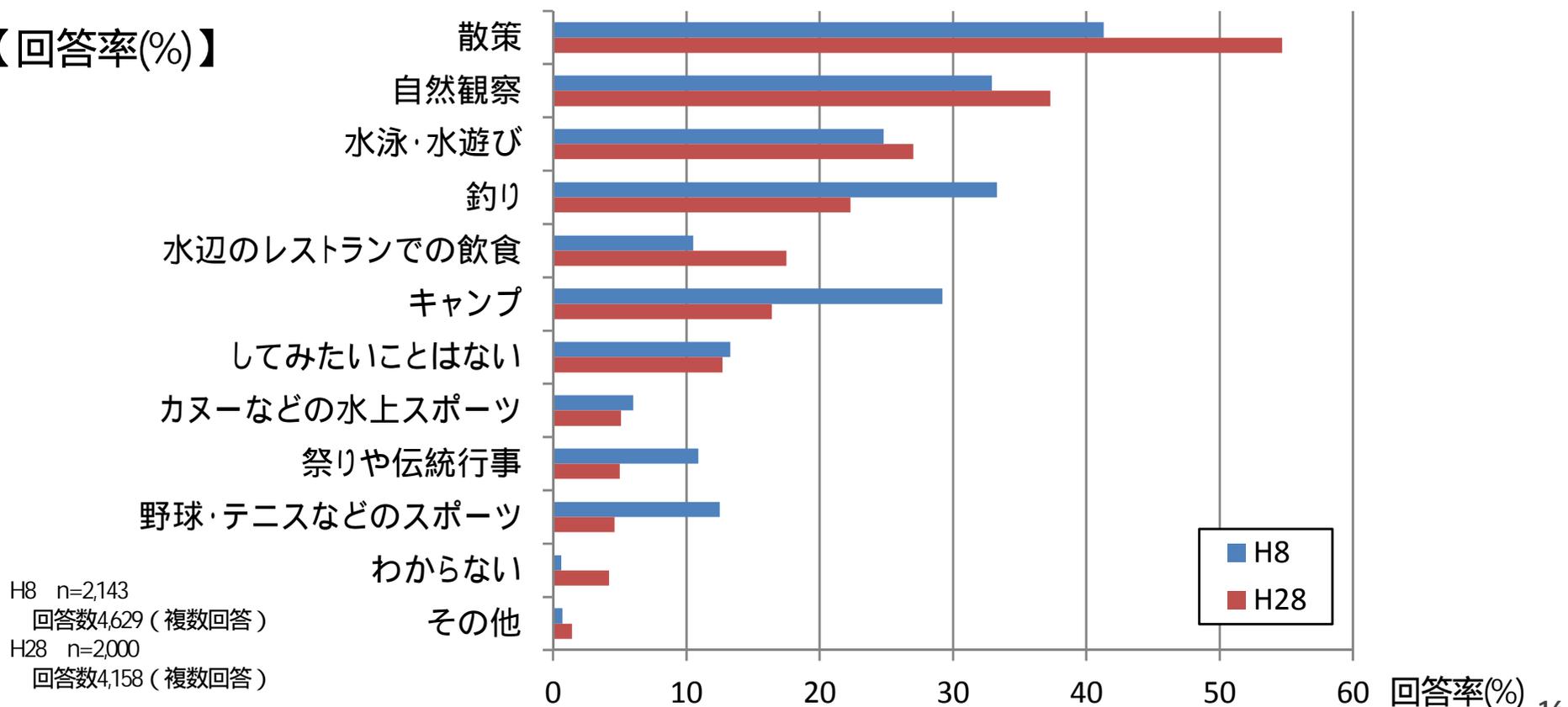
大都市：東京（回答数割合13%）
中都市：神奈川、大阪、愛知、埼玉、千葉（回答数割合30%）
地方：上記それ以外（回答数割合57%） 都道府県人口で設定

4 . 市民の川への要望（利用）（過去調査結果との比較）

Q4:あなたは、河川や河川敷でどのようなことをしてみたいですか。
この中からいくつかでもあげてください。

- ・市民の川の利用への要望は、H8とH28ともに“**散策**”が最も多い。
- ・H8とH28ともに川の自然と親しむ利用（散策、自然観察、水泳・水遊び、釣り）への要望が多い。
- ・H8に比べてH28では、“**散策**”と“**水辺のレストランでの飲食**”の回答が増加、一方で“**釣り**”、“**野球・テニスなどのスポーツ**”、“**キャンプ**”の回答が減少しており、普段の生活での日常的な利用の要望が増えている。

【回答率(%)】

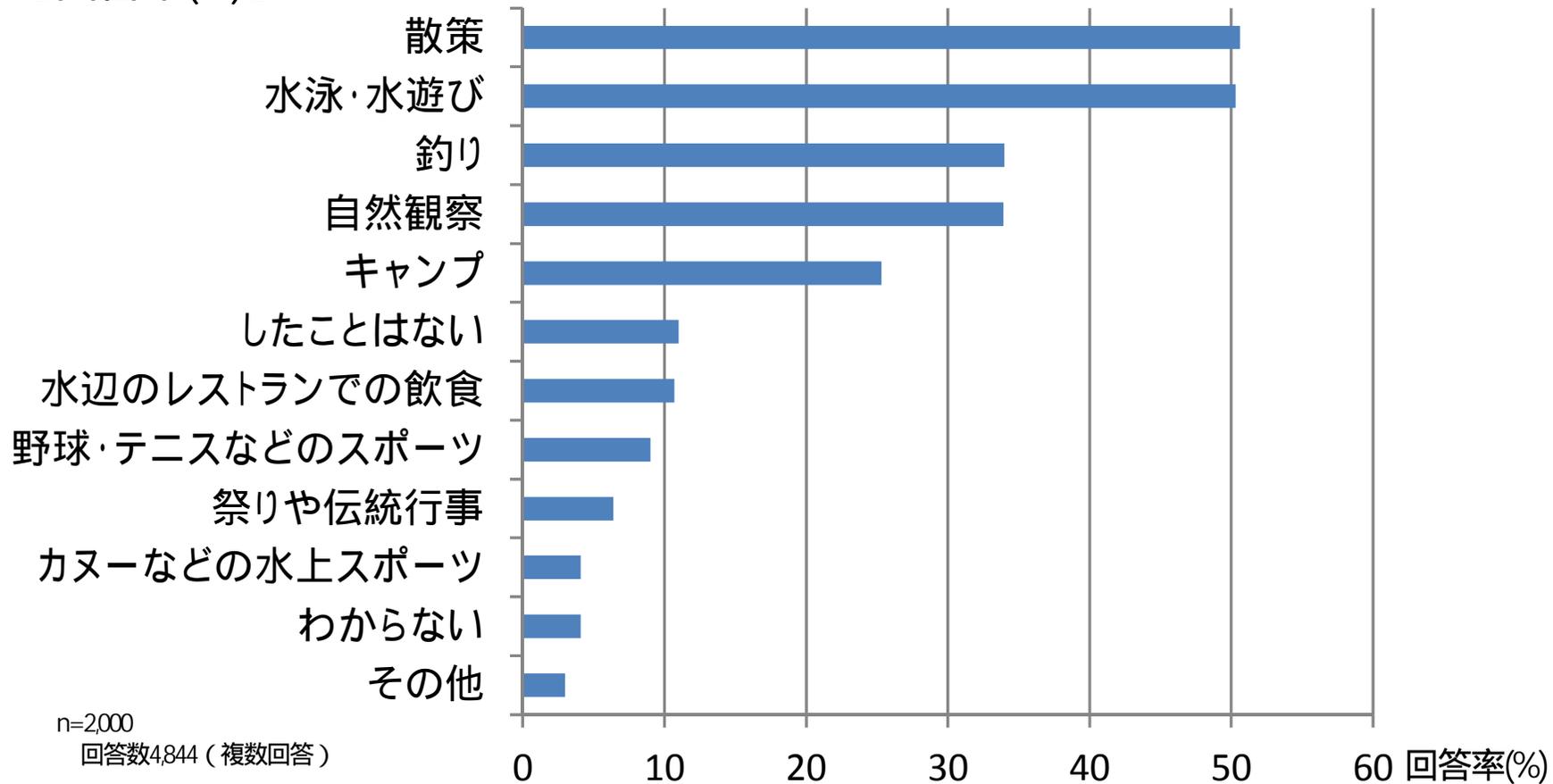


5 . 市民の川の利用実態

Q5:あなたは、河川や河川敷でどのようなことをしたことがありますか。
この中からいくつでもあげてください。

- ・市民の川の利用実態は、“**散策**”(51%)が最も多い(利用への要望(Q4)と同じ)。
- ・次いで、“**水泳・水遊び**”(50%)、“**自然観察**”(34%)。
- ・川の利用実態も、利用への要望(Q4)と同様に、川の自然と親しむ利用(散策、水泳・水遊び、釣り、自然観察)が多い。

【回答率(%)】

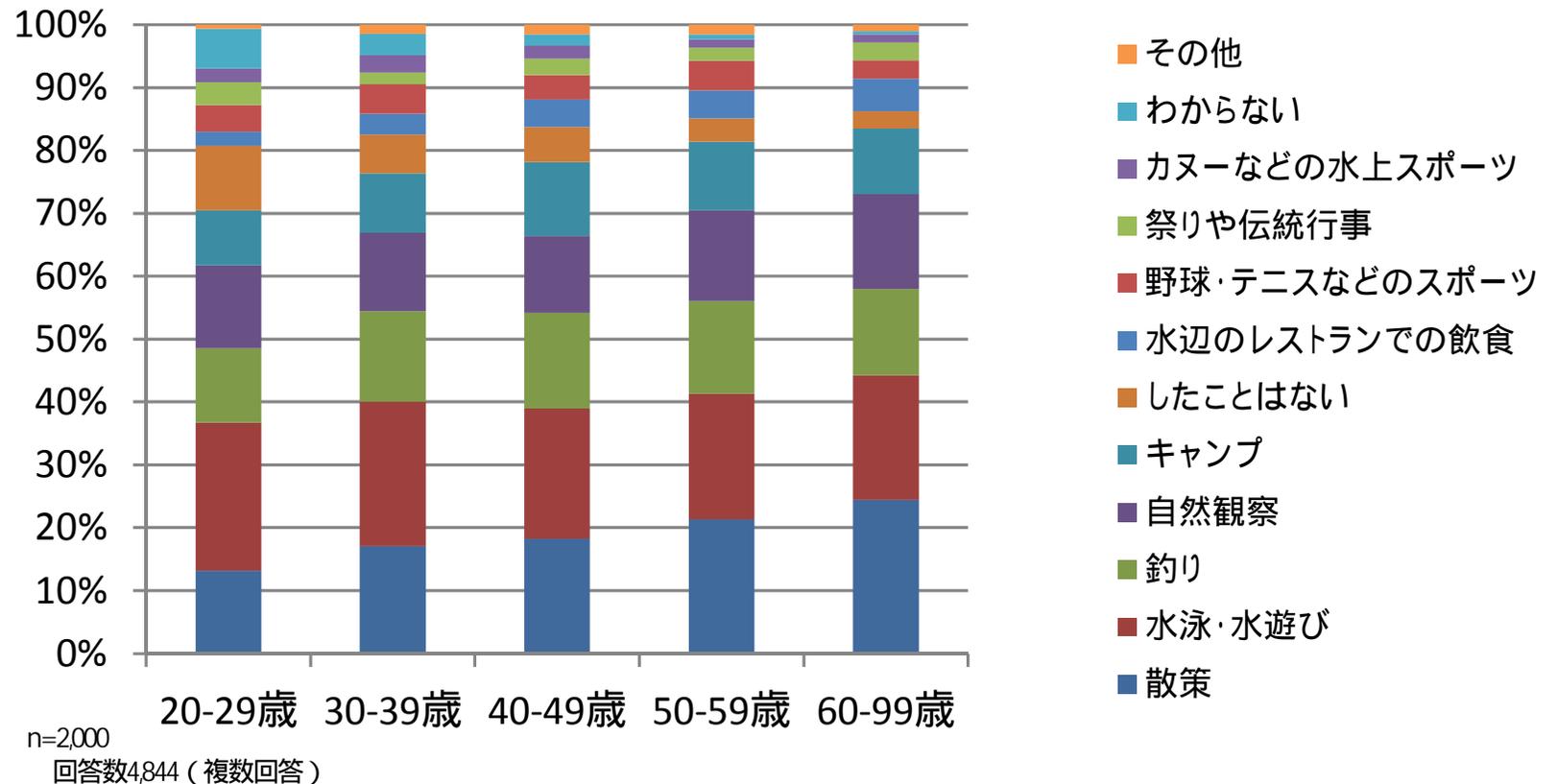


5 . 市民の川の利用実態（年代別整理）

Q5:あなたは、河川や河川敷でどのようなことをしたことがありますか。
この中からいくつでもあげてください。

- ・市民の川の利用実態を年代別に整理すると、年代が上がるに従って、“**散策**”の回答が多くなる傾向が見られる（Q4：利用要望と同じ傾向）。
- ・一方、若い年代ほど“**川を利用したことはない**”の回答が多い。
- ・川の利用実態は年代によって異なることが伺える。

【年代別回答率(%)】

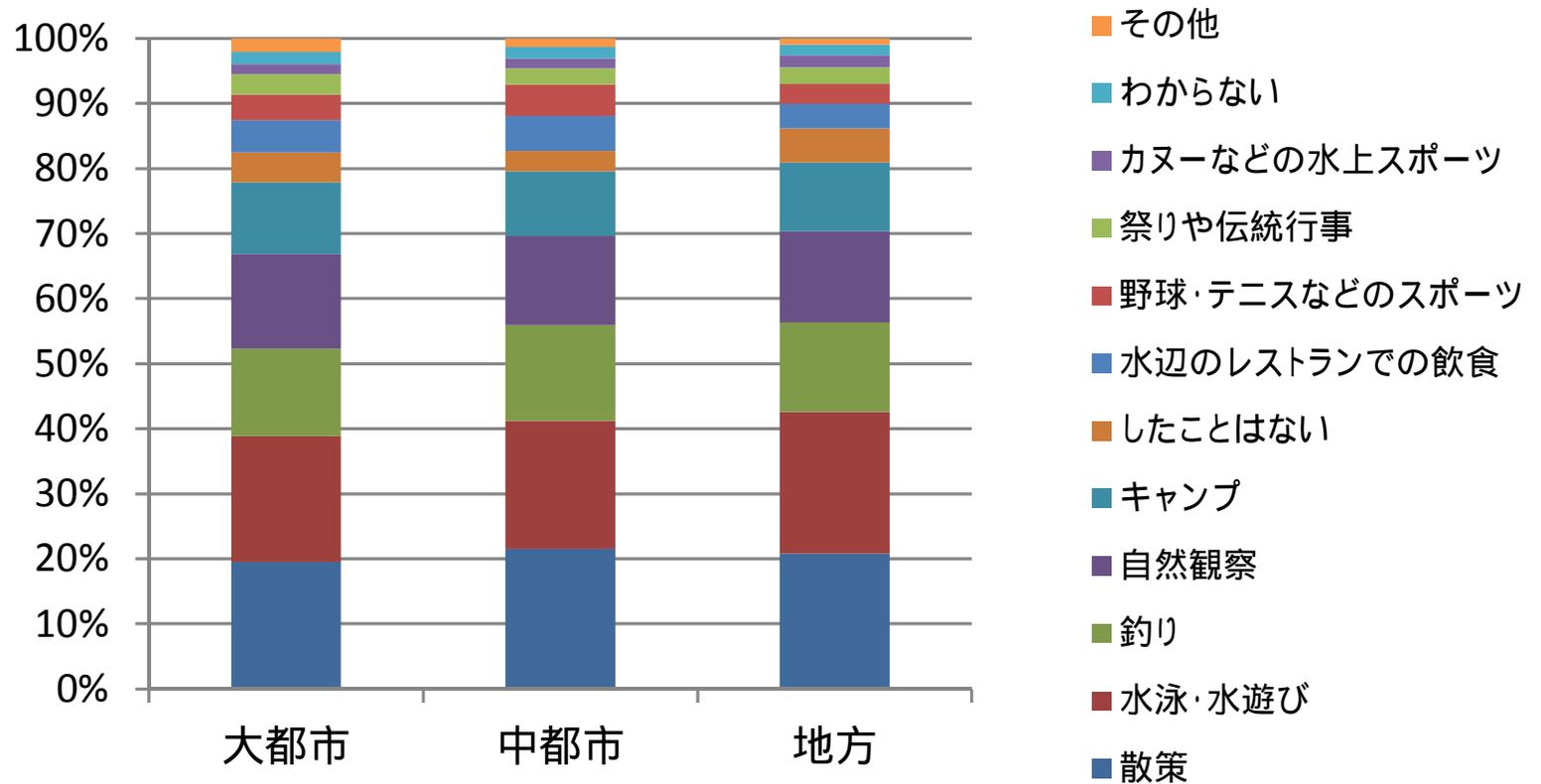


5 . 市民の川の利用実態（都市・地方別整理）

Q5:あなたは、河川や河川敷でどのようなことをしたことがありますか。
この中からいくつでもあげてください。

- 市民の川の利用実態を都市・地方別に整理すると、全体的な傾向に大きな違いは見られない。

【都市・地方別回答率(%)】



n=2,000 回答数4,844 (複数回答)

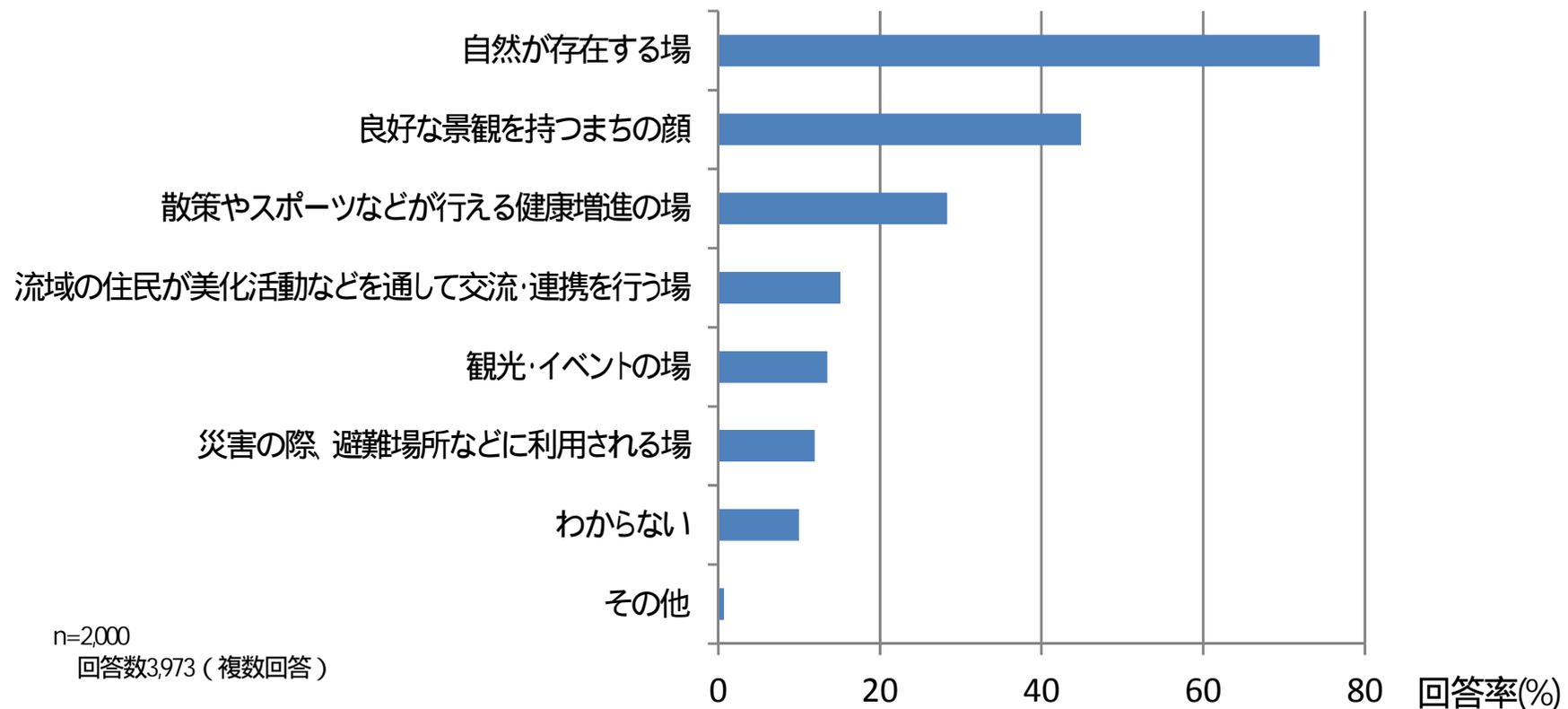
大都市：東京（回答数割合13%）
中都市：神奈川、大阪、愛知、埼玉、千葉（回答数割合30%）
地方：上記それ以外（回答数割合57%） 都道府県人口で設定

6 . 市民の川に求める役割

Q6:あなたは、河川に特にどのような役割を求めますか。
この中からいくつでもあげてください。

- ・市民の川に求める役割は、“**自然が存在する場**”(74%)が最も多い。
- ・次いで、“**良好な景観を持つまちの顔**”(45%)、“**散策やスポーツなどが行える健康増進の場**”(28%)。
- ・川に求める役割として、“**利用・活動**”よりも、“**自然・景観**”に関する役割が大きい。

【回答率(%)】

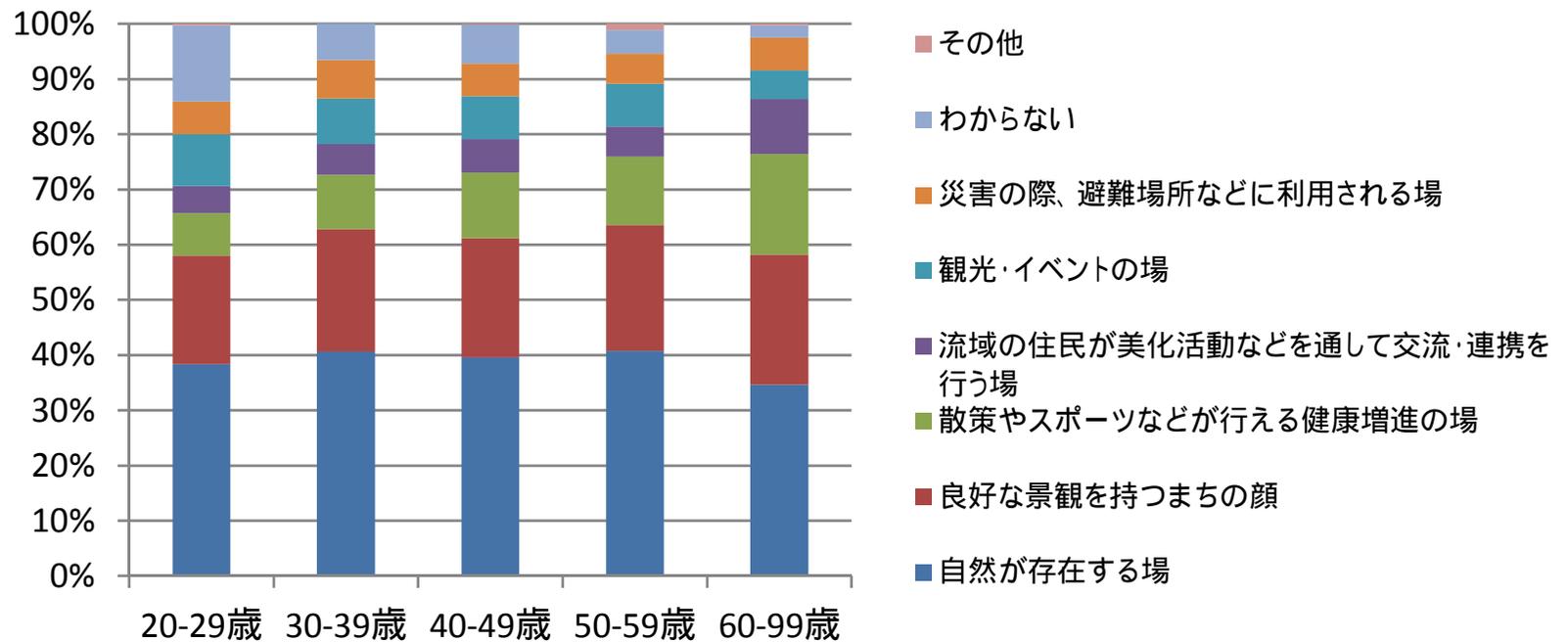


6 . 市民の川に求める役割（年代別整理）

Q6:あなたは、河川に特にどのような役割を求めますか。
この中からいくつでもあげてください。

- ・市民の川に求める役割を年代別に整理すると、年代が上がるに従って、“散策やスポーツなどが行える健康増進の場”、“流域の住民が美化活動などを通して交流・連携を行う場”の回答が多くなる傾向が見られる。
- ・一方、若い年代ほど“わからない”の回答が多い。
- ・市民の川に求める役割は年代によって異なることが伺える。

【年代別回答率(%)】



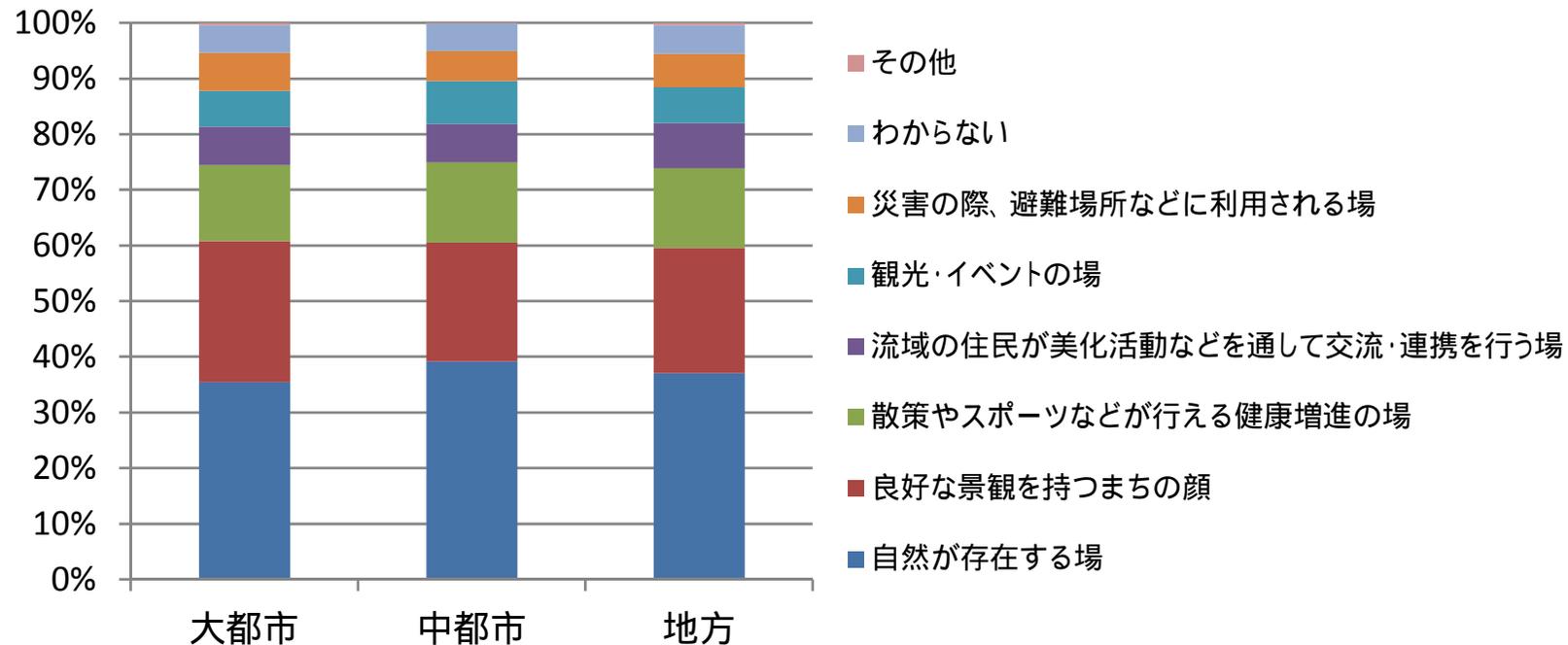
n=2,000
回答数3,973 (複数回答)

6 . 市民の川に求める役割（都市・地方別整理）

Q6:あなたは、河川に特にどのような役割を求めますか。
この中からいくつでもあげてください。

- 市民の川に求める役割を都市・地方別に整理すると、全体的な傾向に大きな違いは見られない。

【都市・地方代別回答率(%)】



n=2,000

回答数3,973（複数回答）

大都市：東京（回答数割合13%）

中都市：神奈川、大阪、愛知、埼玉、千葉（回答数割合30%）

地方：上記それ以外（回答数割合57%） 都道府県人口で設定

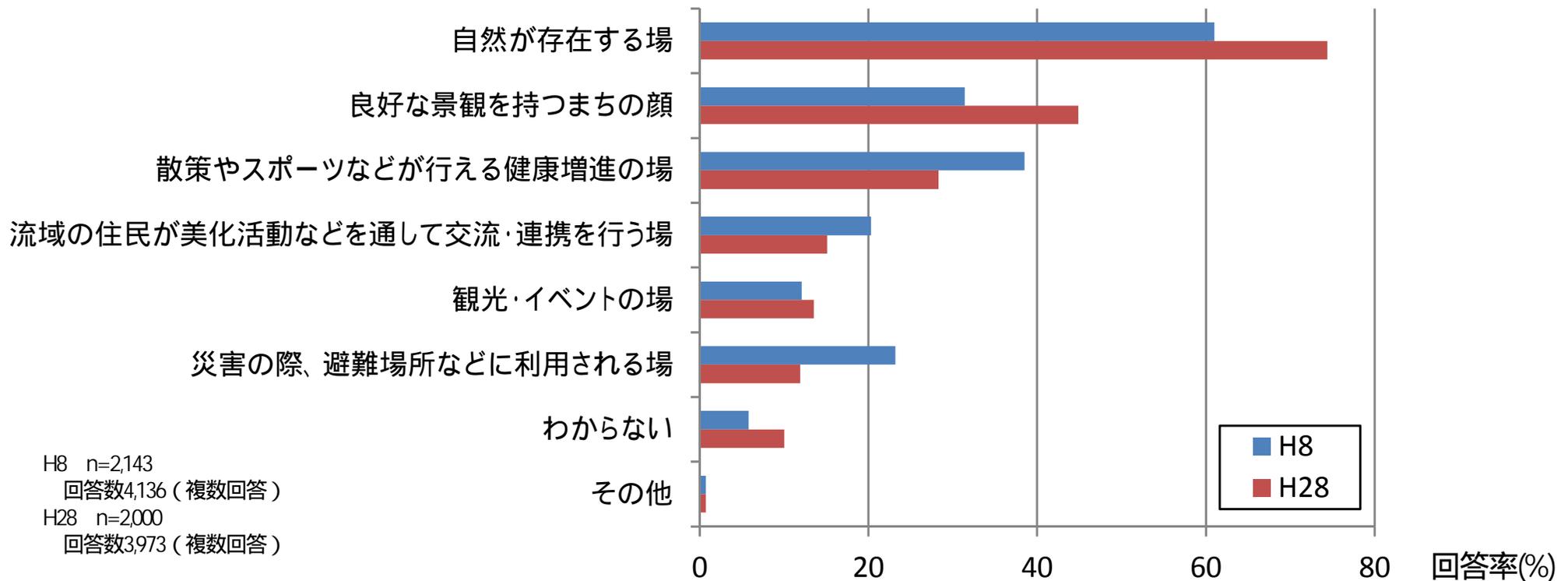
6 . 市民の川に求める役割（過去調査結果との比較）

Q6:あなたは、河川に特にどのような役割を求めますか。

この中からいくつでもあげてください。

- ・市民の川に求める役割は、H8とH28ともに“**自然が存在する場**”が最も多い。
- ・H8に比べてH28では、“**自然が存在する場**”と“**良好な景観を持つまちの顔**”の回答が増加、“**災害の際、避難場所などに利用される場**”、“**散策やスポーツなどが行える健康増進の場**”の回答が減少している。
- ・川に求める役割は“**自然・景観**”が増加しており、川そのものの良さを求めていることが伺える。

【回答率(%)】

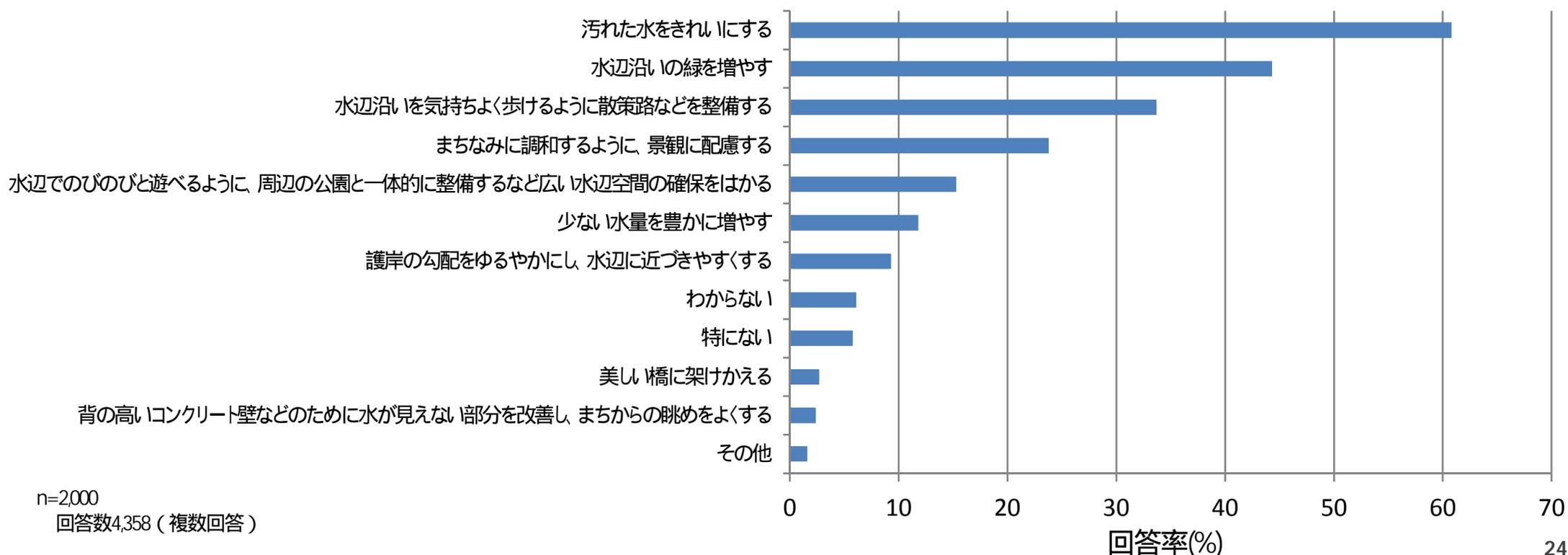


7. 市民の水辺づくりへの期待

Q7:美しく潤いのある水辺づくりのためにあなたが国や地方公共団体に期待することは何ですか。この中から3つまでお答えください。

- ・市民の水辺づくりへの期待は、“汚れた水をきれいにする”(61%)が最も多い。
- ・次いで、“水辺沿いの緑を増やす”(44%)、“水辺沿いを気持ちよく歩けるように散策路などを整備する”(34%)。
- ・水辺づくりへの期待として、“水辺環境の改善”(水質改善、河畔林・散策路整備)に関する要望が多い。

【回答率(%)】



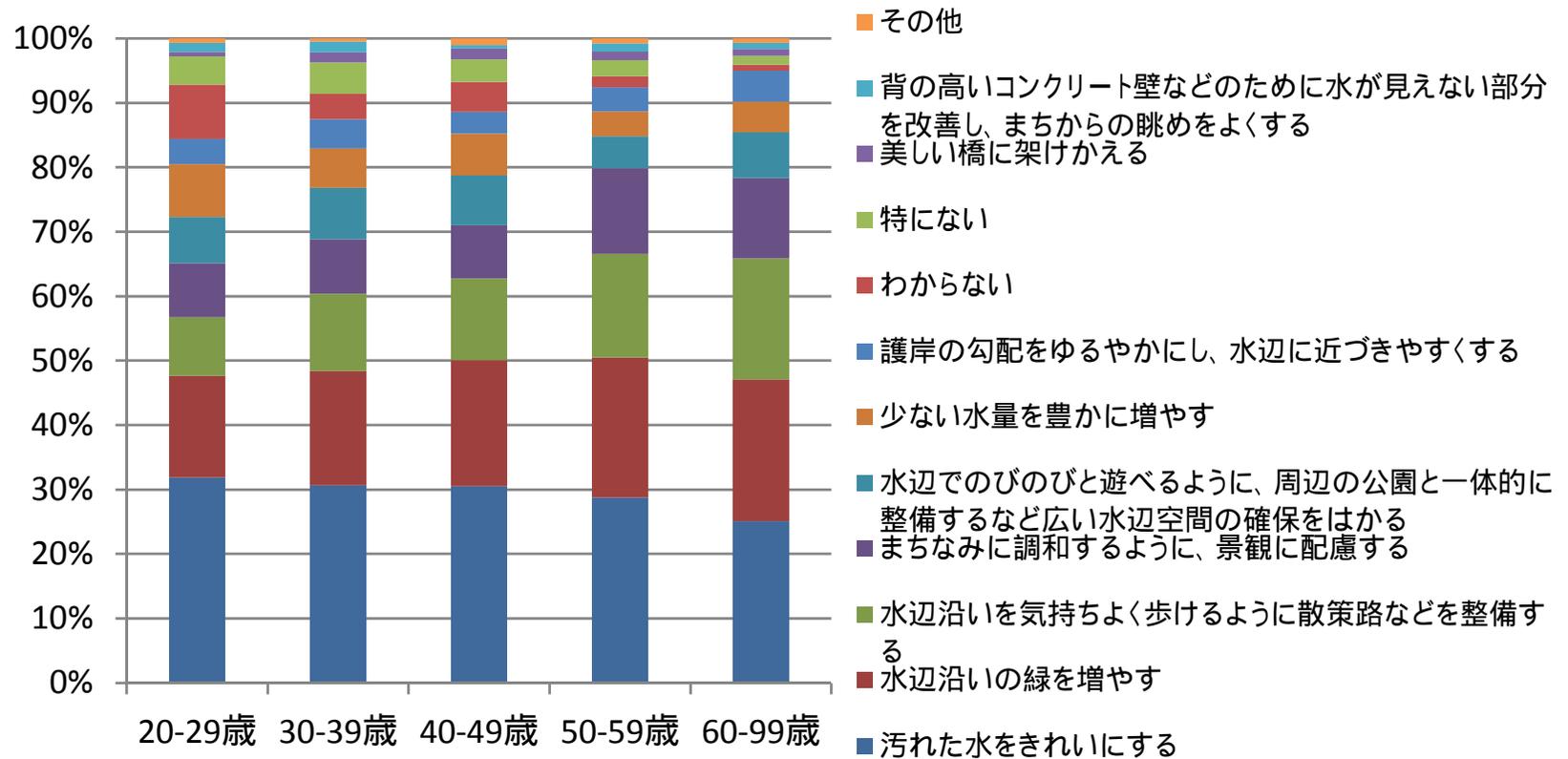
n=2,000
回答数4,358 (複数回答)

7 . 市民の水辺づくりへの期待（年代別整理）

Q7:美しく潤いのある水辺づくりのためにあなたが国や地方公共団体に期待することは何ですか。この中から3つまでお答えください。

- ・ 市民の水辺づくりへの期待を年代別に整理すると、年代が上がるに従って、“水辺沿いの緑を増やす”、“散策路を整備する”の回答が多く、利用面の改善への期待が高い。
- ・ 市民の水辺づくりへの期待は年代によって異なることが伺える。

【年代別回答率(%)】



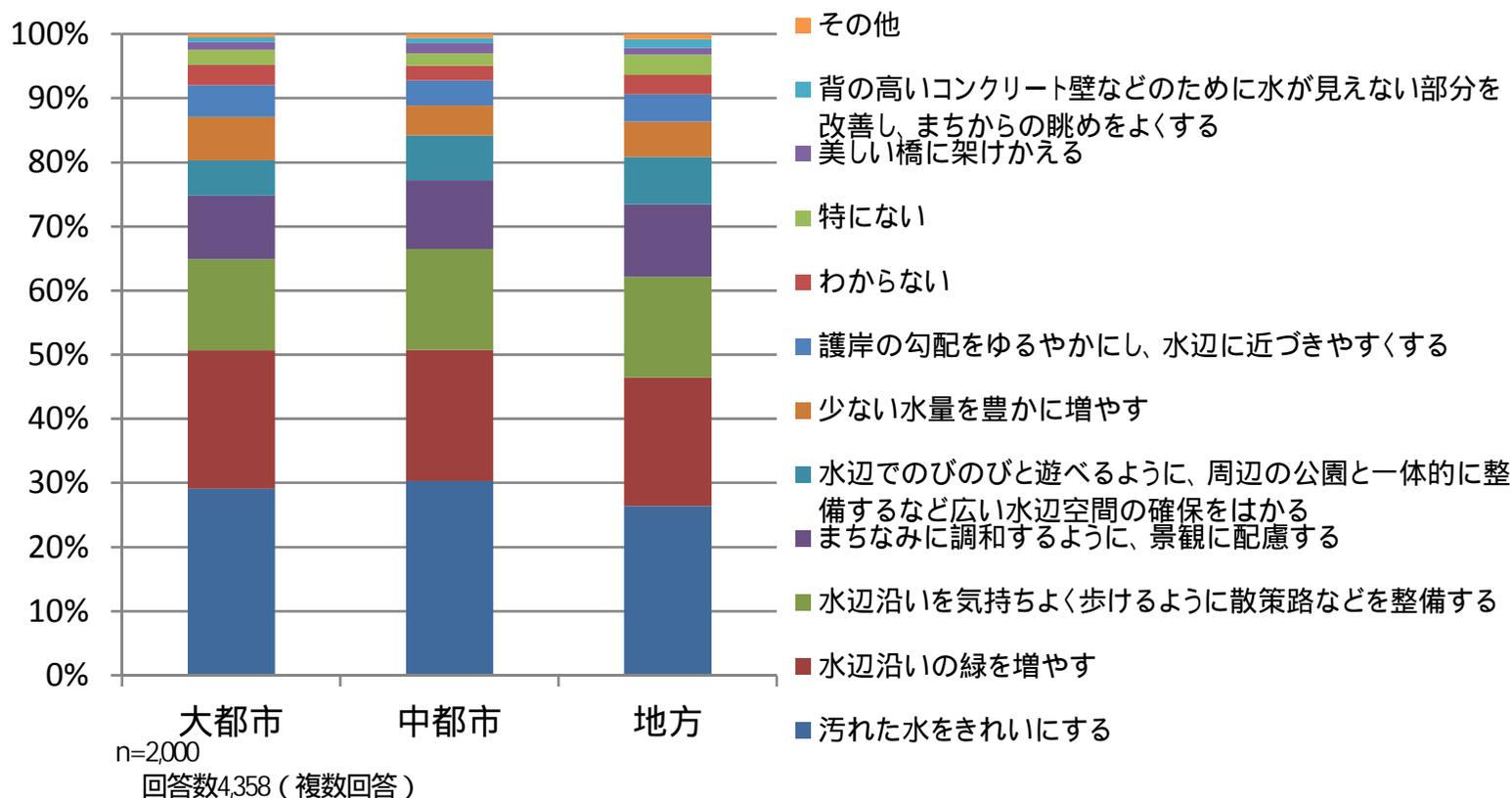
n=2,000
回答数4,358（複数回答）

7 . 市民の水辺づくりへの期待（都市・地方別整理）

Q7:美しく潤いのある水辺づくりのためにあなたが国や地方公共団体に期待することは何ですか。この中から3つまでお答えください。

- ・市民の水辺づくりへの期待を都市・地方別に整理すると、全体的な傾向に大きな違いは見られない。

【都市・地方別回答率(%)】



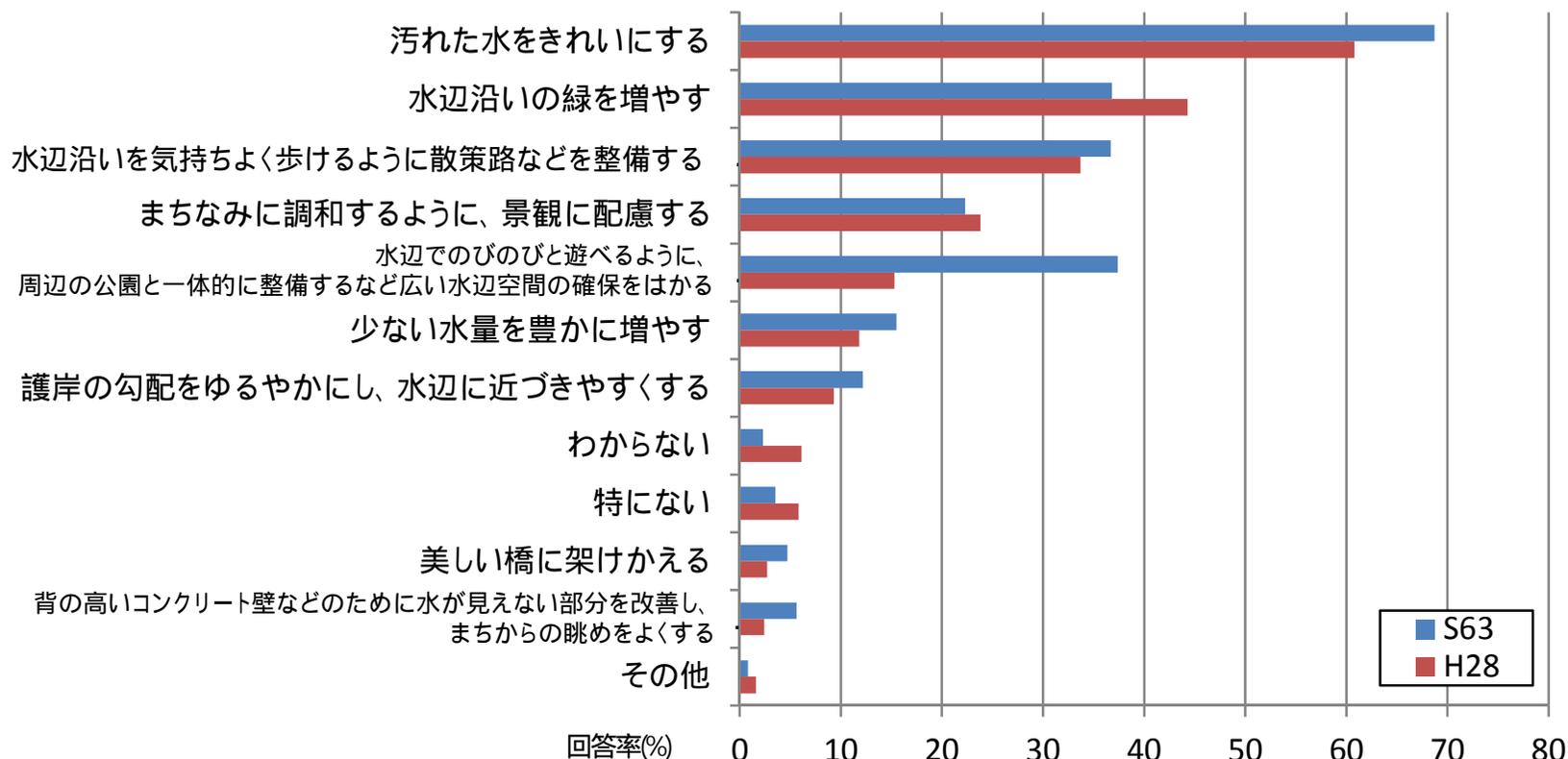
大都市：東京（回答数割合13%）
 中都市：神奈川、大阪、愛知、埼玉、千葉（回答数割合30%）
 地方：上記それ以外（回答数割合57%） 都道府県人口で設定

7. 市民の水辺づくりへの期待（過去調査結果との比較）

Q7:美しく潤いのある水辺づくりのためにあなたが国や地方公共団体に期待することは何ですか。この中から3つまでお答えください。

- 市民の水辺づくりへの期待は、S63とH28ともに“汚れた水をきれいにする”が最も多い。
- S63とH28ともに、“水辺環境の改善”（水質改善、河畔林・散策路整備）に関する要望が多い。
- S63に比べてH28では、“水辺沿いの緑を増やす”、“まちなみに調和するように、景観に配慮する”の回答が増加している一方、“水辺でのびのびと遊べるように、周辺の公園と一体的に整備するなど広い水辺空間の確保をはかる”の回答が減少している。

【回答率(%)】



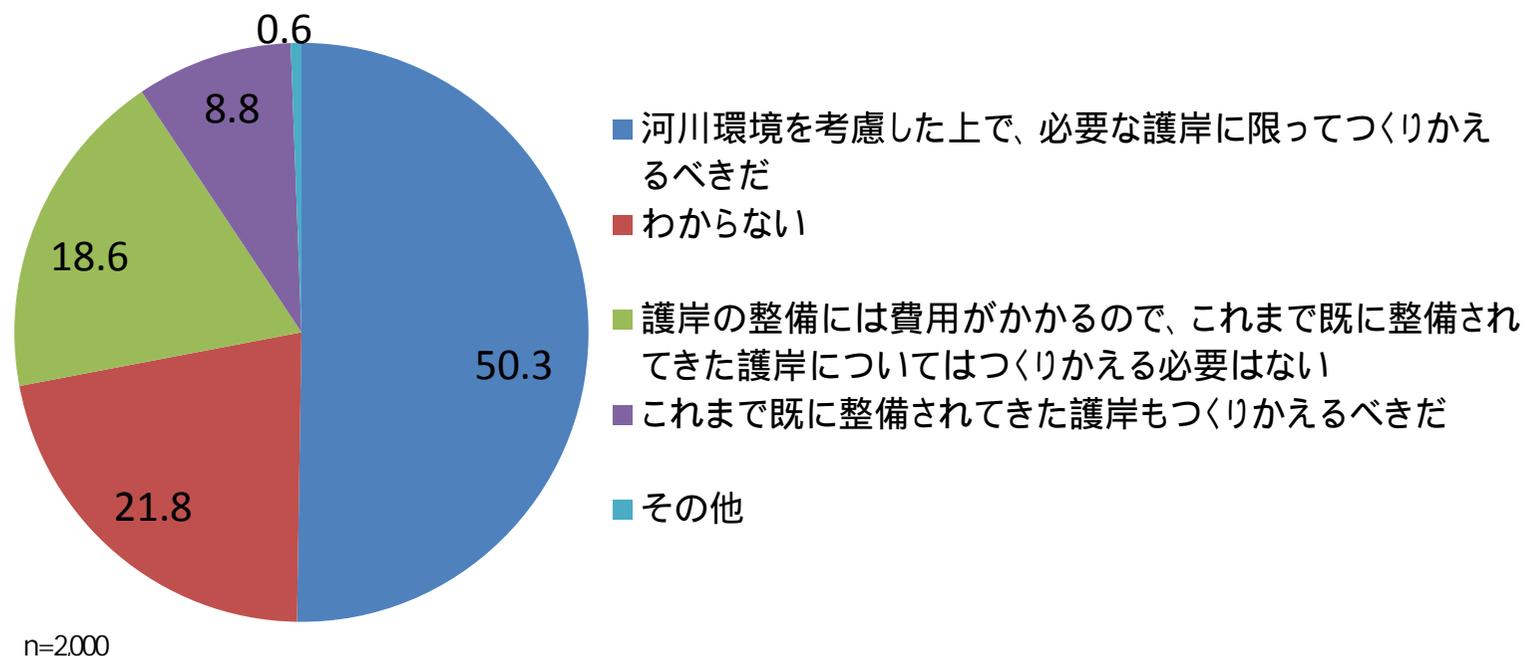
S63 n=3,817
 回答数9,401 (複数回答)
 H28 n=2,000
 回答数4,358 (複数回答)

8 . 市民の護岸整備への要望

Q8:現在、人と自然に優しい構造として、植物や石など自然の素材を活かした整備が行われていますが、あなたは、これまで既に整備されてきた護岸についても、このような人と自然に優しい構造につくりかえていくべきだと思いますか。あなたの考えに近いものをこの中から1つだけお答えください。

- ・市民の護岸整備への要望は、“河川環境を考慮した上で、必要な護岸に限ってつくりかえるべきだ”(50%)が最も多い。
- ・環境に配慮した護岸整備の要望は、回答の6割を占める。

【回答率(%)】

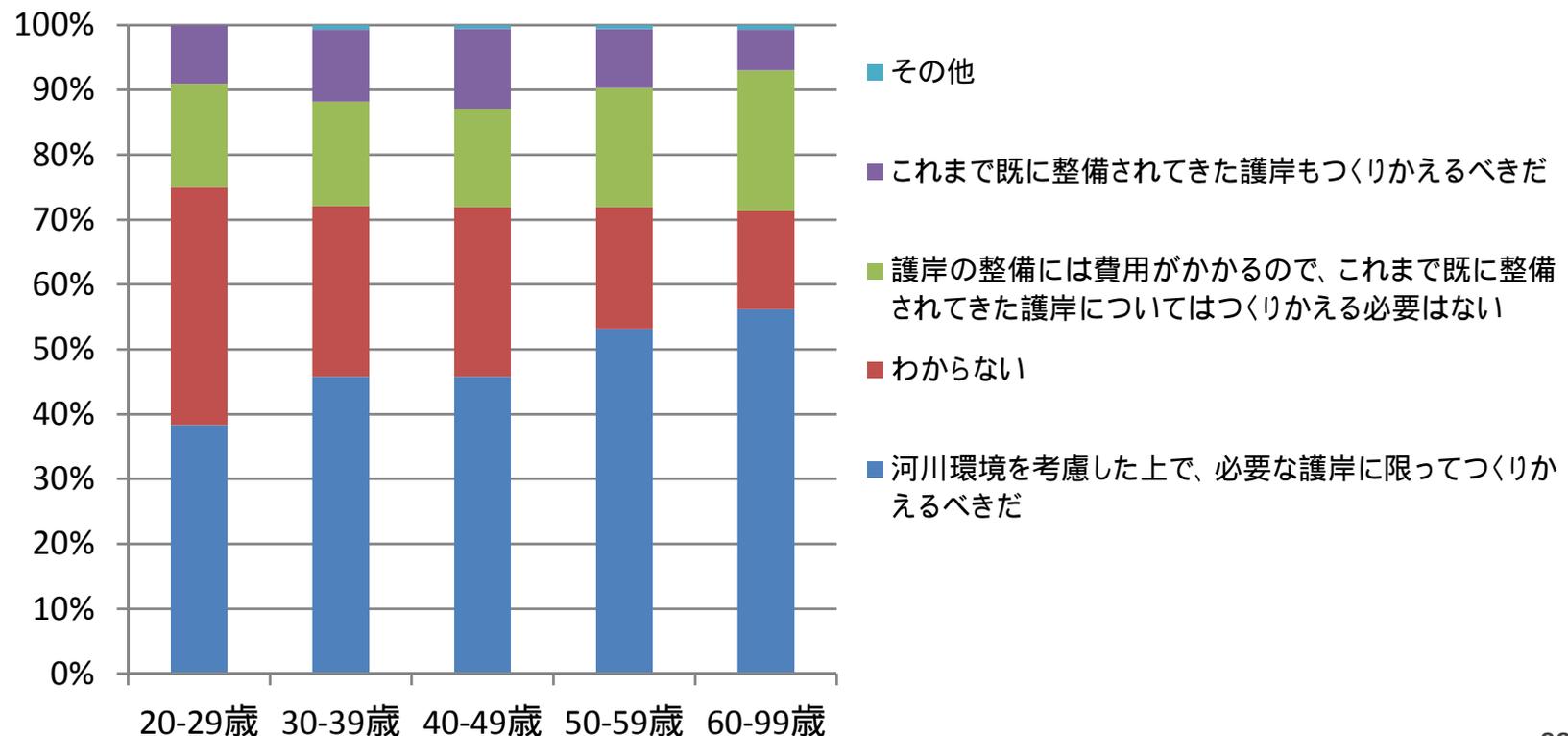


8 . 市民の護岸整備への要望（年代別整理）

Q8:現在、人と自然に優しい構造として、植物や石など自然の素材を活かした整備が行われていますが、あなたは、これまで既に整備されてきた護岸についても、このような人と自然に優しい構造につくりかえていくべきだと思いますか。あなたの考えに近いものをこの中から1つだけお答えください。

- ・市民の護岸整備への要望を年代別に整理すると、年代が上がるに従って、“**河川環境を考慮した上で、必要な護岸に限ってつくりかえるべきだ**”の回答が多くなる傾向が見られる。
- ・一方、若い年代ほど“**わからない**”の回答が多い。

【年代別回答率(%)】

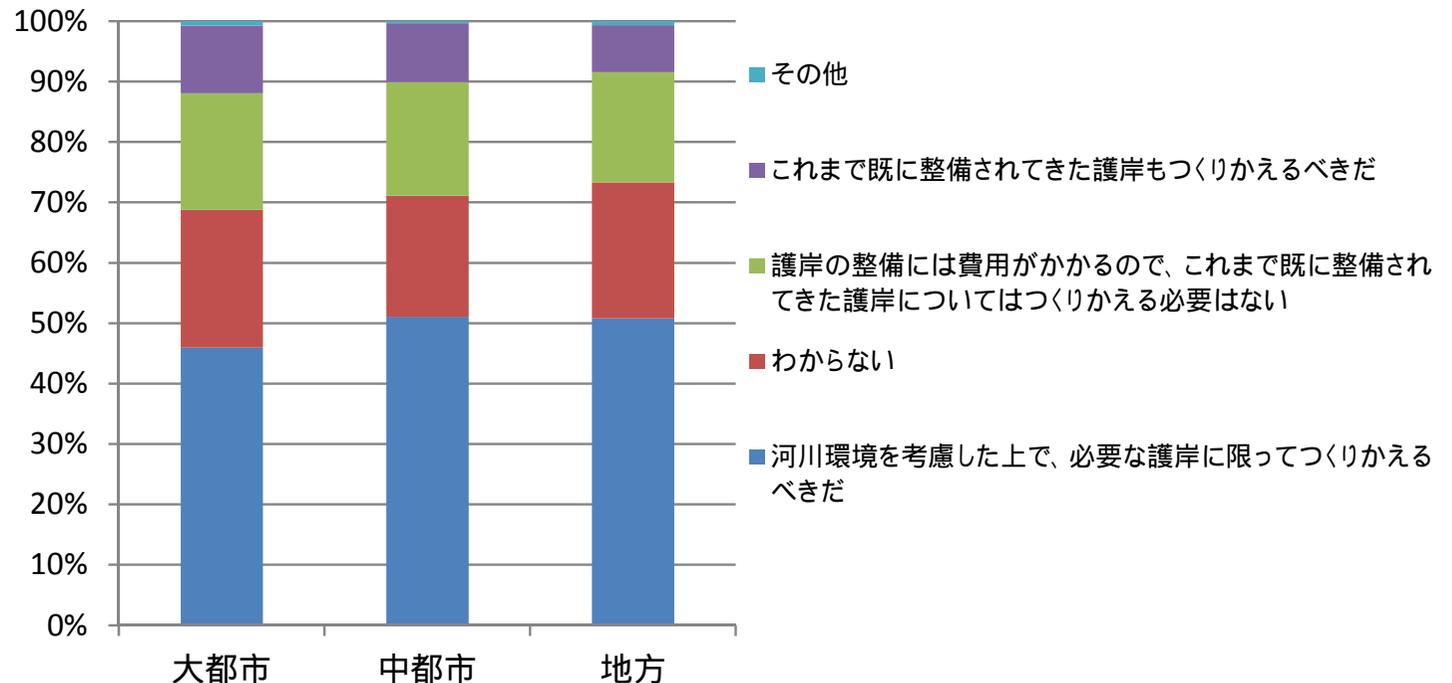


8 . 市民の護岸整備への要望（都市・地方別整理）

Q8:現在、人と自然に優しい構造として、植物や石など自然の素材を活かした整備が行われていますが、あなたは、これまで既に整備されてきた護岸についても、このような人と自然に優しい構造につくりかえていくべきだと思いますか。あなたの考えに近いものをこの中から1つだけお答えください。

- ・市民の護岸整備への要望を都市・地方別に整理すると、全体的な傾向に大きな違いは見られない。

【都市・地方別回答率(%)】



大都市：東京（回答数割合13%）

中都市：神奈川、大阪、愛知、埼玉、千葉（回答数割合30%）

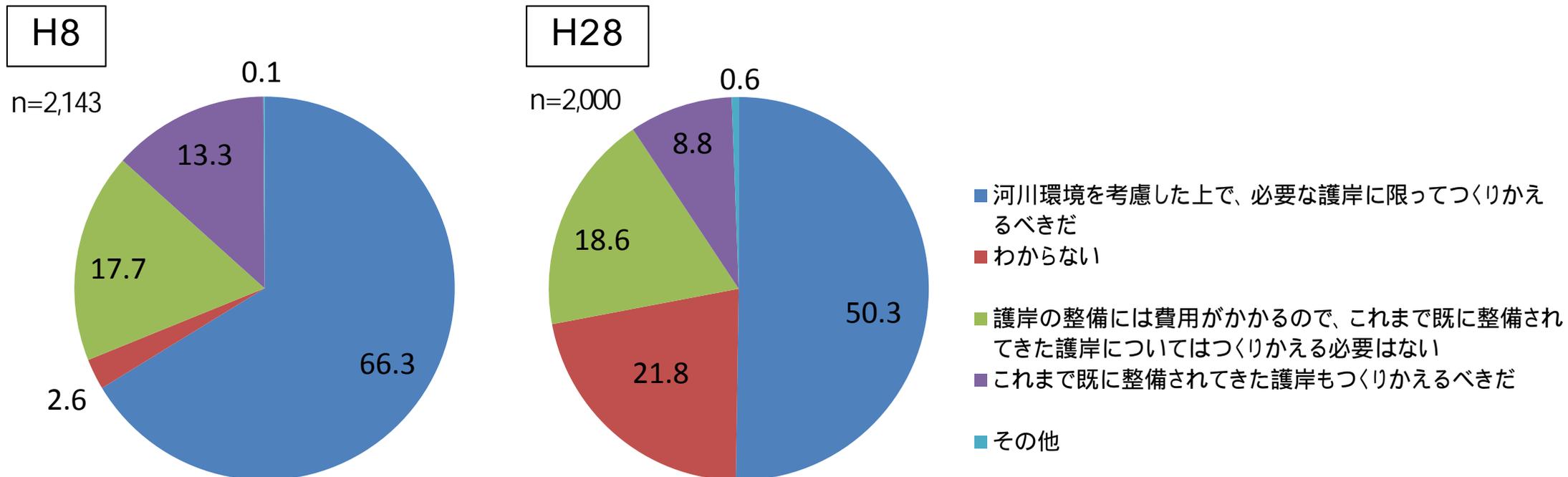
地方：上記それ以外（回答数割合57%） 都道府県人口で設定

8 . 市民の護岸整備への要望（過去調査結果との比較）

Q8:現在、人と自然に優しい構造として、植物や石など自然の素材を活かした整備が行われていますが、あなたは、これまで既に整備されてきた護岸についても、このような人と自然に優しい構造につくりかえていくべきだと思いますか。あなたの考えに近いものをこの中から1つだけお答えください。

- ・市民の護岸整備への要望は、H8とH28ともに“河川環境を考慮した上で、必要な護岸に限ってつくりかえるべきだ”が最も多い。
- ・一方で、H28では“わからない”の回答が多い。

【回答率(%)】



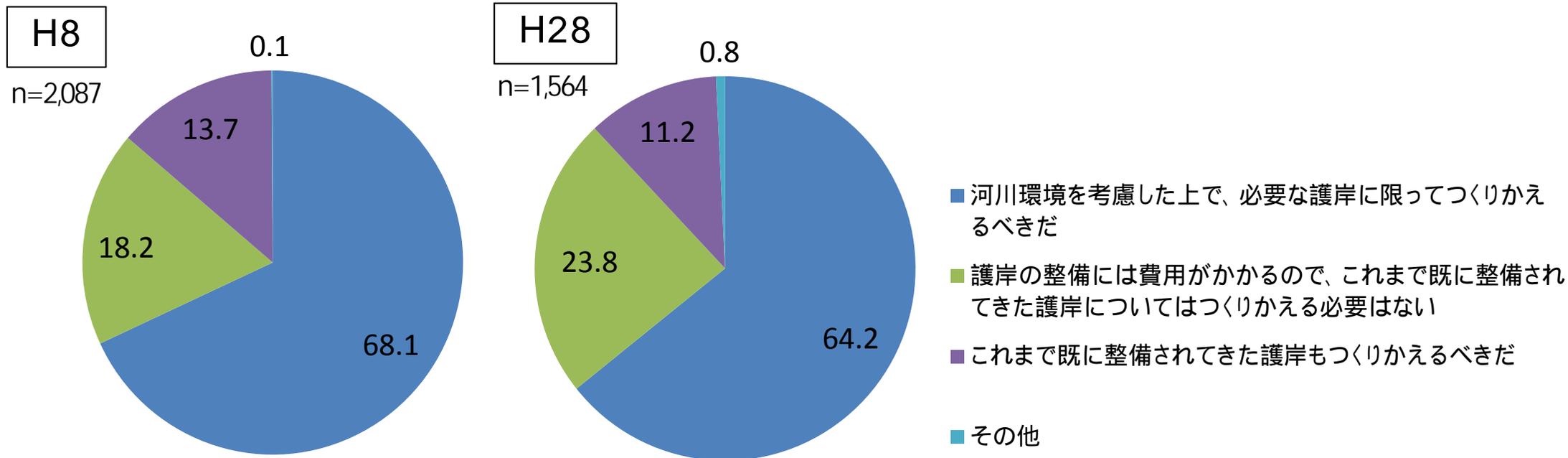
8 . 市民の護岸整備への要望（過去調査結果との比較）

Q8:現在、人と自然に優しい構造として、植物や石など自然の素材を活かした整備が行われていますが、あなたは、これまで既に整備されてきた護岸についても、このような人と自然に優しい構造につくりかえていくべきだと思いますか。あなたの考えに近いものをこの中から1つだけお答えください。

参考：“わからない”の回答を除いた場合

- ・市民の護岸整備への要望について、“わからない”の回答を除いて整理すると、H8とH28の全体的な傾向に大きな違いは見られない。

【回答率(%)】

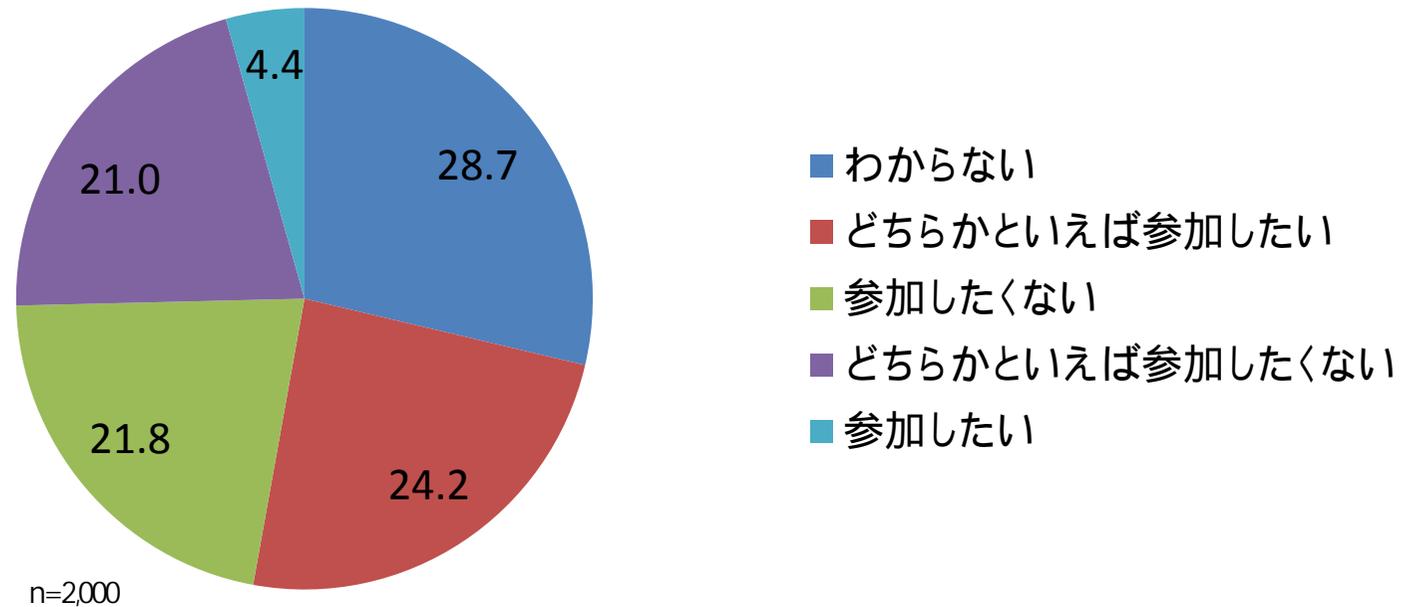


9 . 市民の流域活動への参加要望

Q9:近年、河川流域の美化活動や、「川サミット」といった流域住民による交流・連携活動など、河川に関する様々な活動が行われています。あなたは、今後、このような活動に参加したいと思いますか。思いませんか。この中から1つだけお答えください。

- ・市民の流域活動への参加要望は、“わからない”(29%)が最も多い。
- ・”参加したくない・わからない”の回答が7割を占め、市民の流域活動の認知・理解の促進が課題となる。

【回答率(%)】

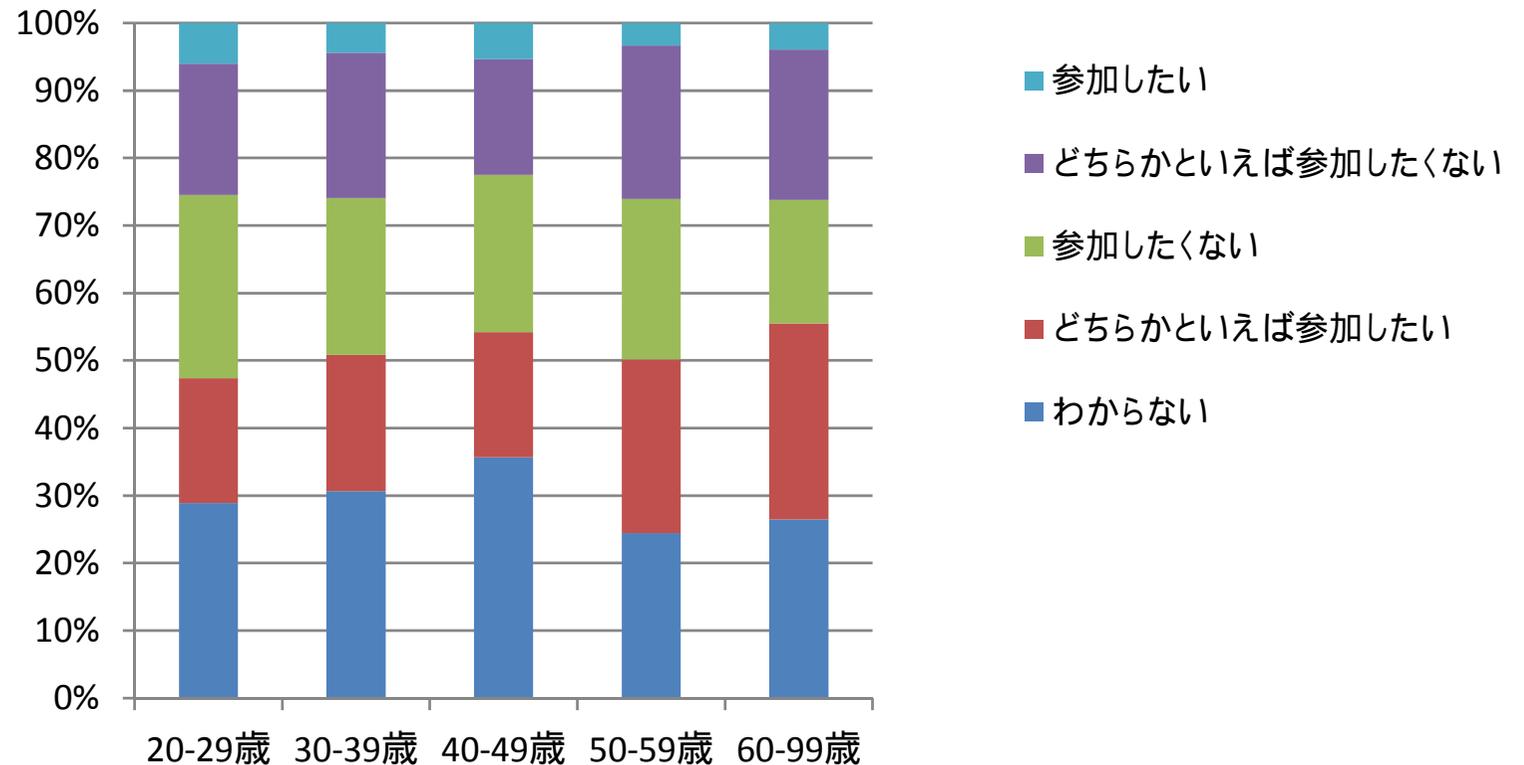


9 . 市民の流域活動への参加要望（年代別整理）

Q9:近年、河川流域の美化活動や、「川サミット」といった流域住民による交流・連携活動など、河川に関する様々な活動が行われています。あなたは、今後、このような活動に参加したいと思いますか。思いませんか。この中から1つだけお答えください。

- ・市民の流域活動への参加要望を年代別に整理すると、50代以上は“どちらかといえば参加したい”の回答が多く、40代以下は“わからない”の回答が多くなる傾向が見られる。

【年代別回答率(%)】

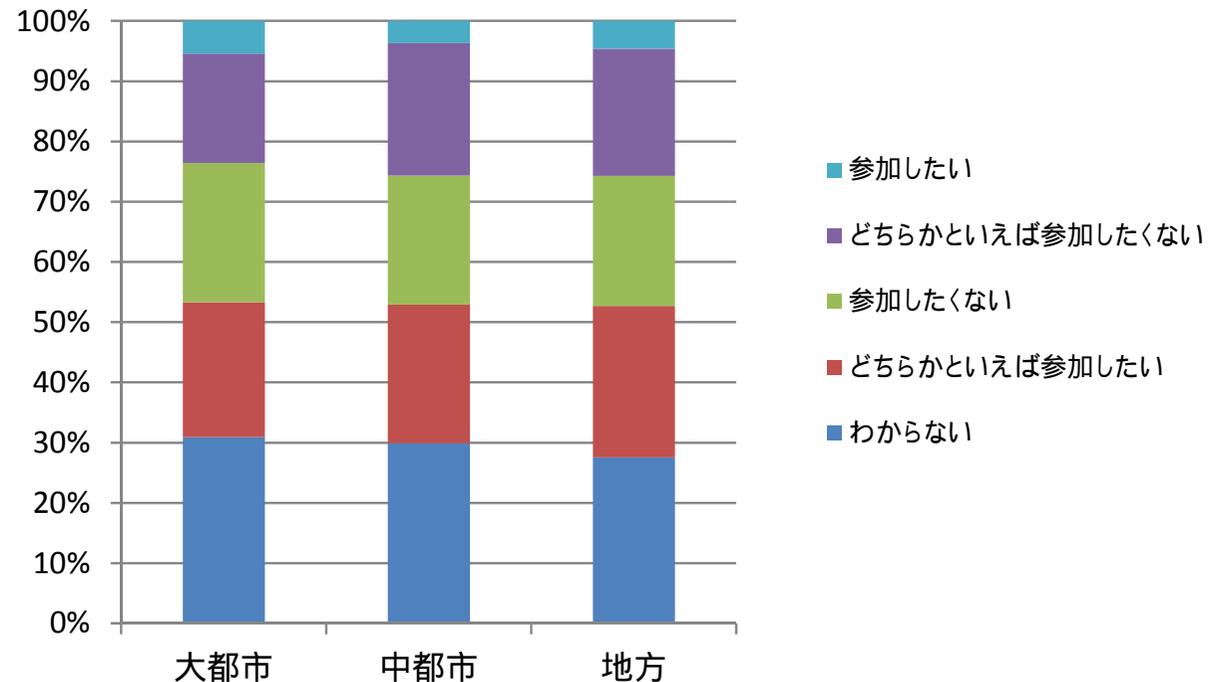


9 . 市民の流域活動への参加要望（都市・地方別整理）

Q9:近年、河川流域の美化活動や、「川サミット」といった流域住民による交流・連携活動など、河川に関する様々な活動が行われています。あなたは、今後、このような活動に参加したいと思いますか。思いませんか。この中から1つだけお答えください。

- ・市民の流域活動への参加要望を都市・地方別に整理すると、全体的な傾向に大きな違いは見られない。

【都市・地方別回答率(%)】



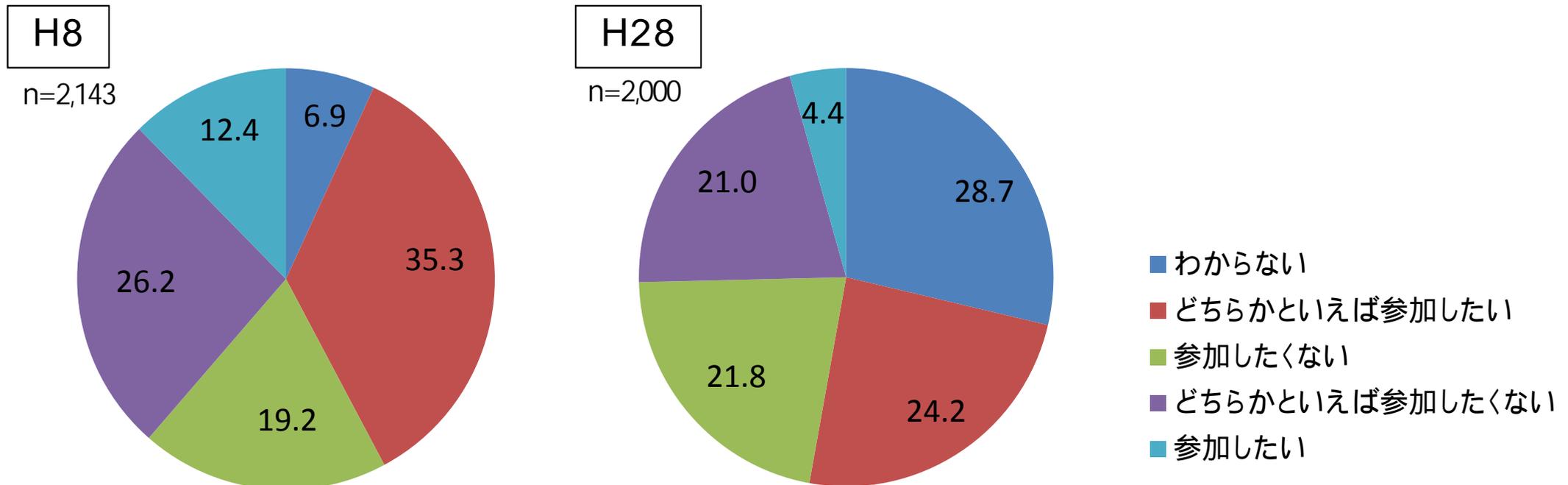
大都市：東京（回答数割合13%）
中都市：神奈川、大阪、愛知、埼玉、千葉（回答数割合30%）
地方：上記それ以外（回答数割合57%） 都道府県人口で設定

9 . 市民の流域活動への参加要望（過去調査結果との比較）

Q9:近年、河川流域の美化活動や、「川サミット」といった流域住民による交流・連携活動など、河川に関する様々な活動が行われています。あなたは、今後、このような活動に参加したいと思いますか。思いませんか。この中から1つだけお答えください。

- ・市民の流域活動への参加要望は、H8では“**どちらかといえば参加したい**”が最も多いのに対して、H28では“**わからない**”が最も多い。
- ・H8に比べてH28では”参加したくない・わからない”の回答が多く、市民の流域活動の認知・理解の促進が課題となる。

【回答率(%)】



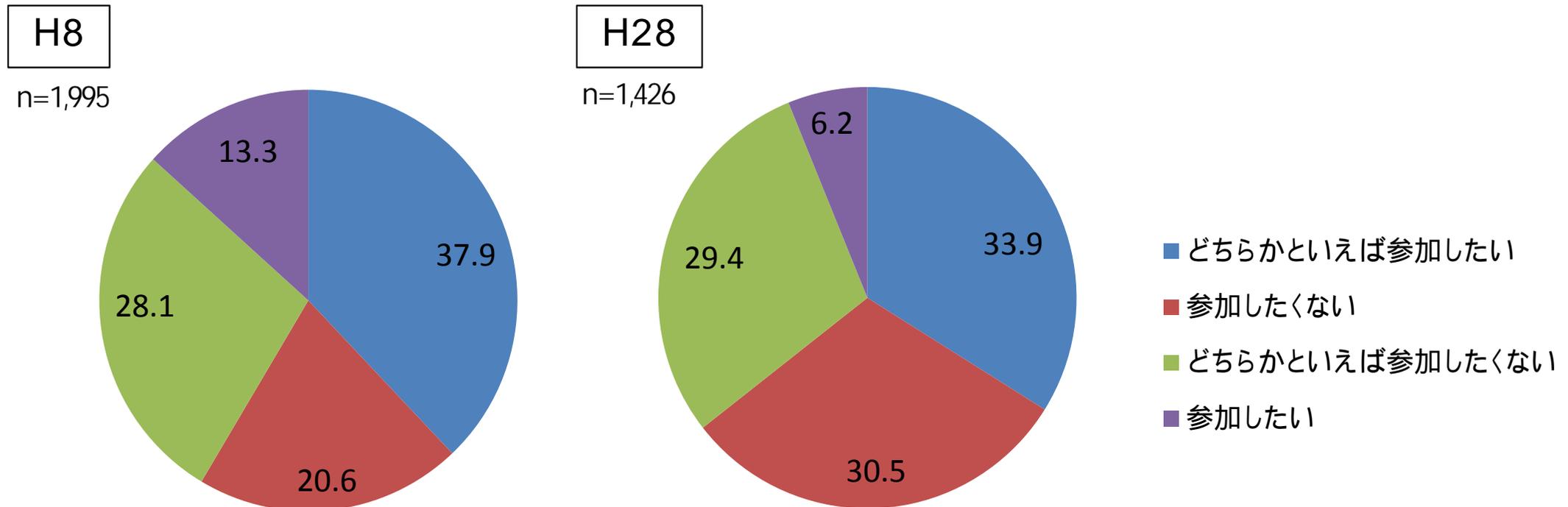
9 . 市民の流域活動への参加要望（過去調査結果との比較）

Q9:近年、河川流域の美化活動や、「川サミット」といった流域住民による交流・連携活動など、河川に関する様々な活動が行われています。あなたは、今後、このような活動に参加したいと思いますか。思いませんか。この中から1つだけお答えください。

参考：“わからない”の回答を除いた場合

・市民の流域活動への参加要望について、“わからない”の回答を除いて整理すると、H8に比べてH28は、“参加したくない”の回答が増加している。

【回答率(%)】

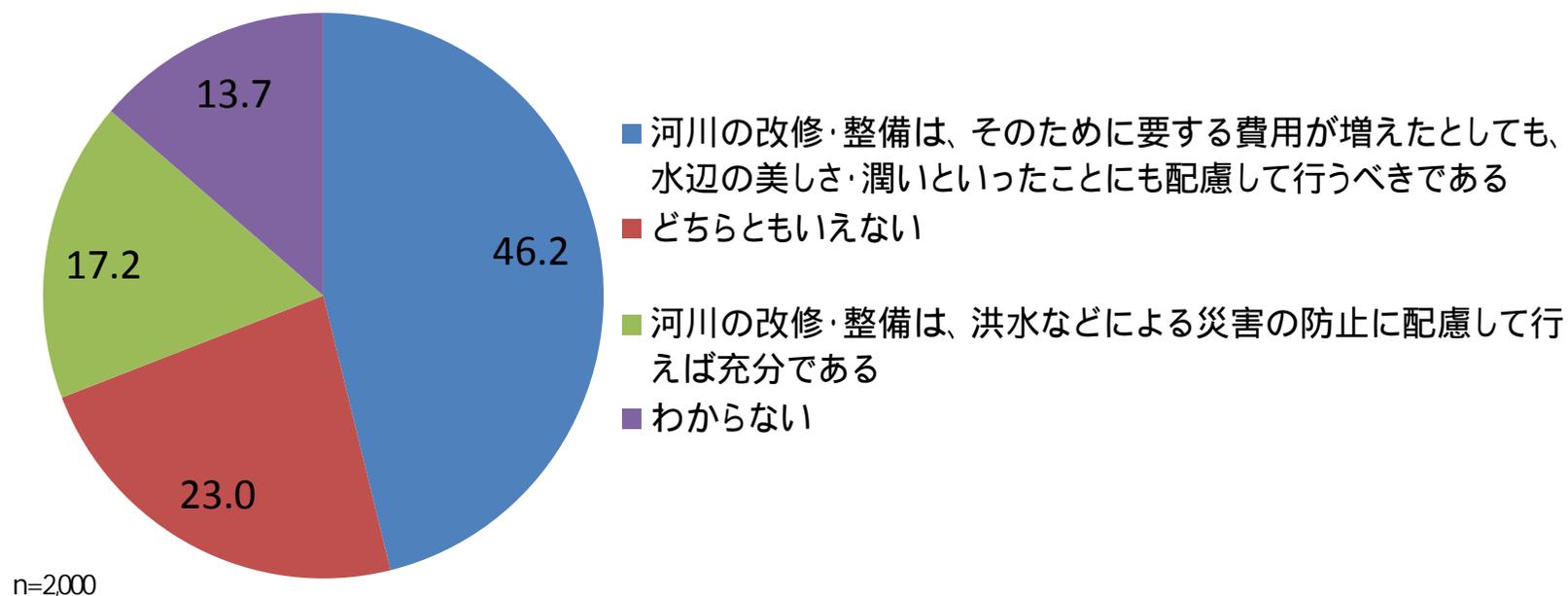


10 . 市民の河川整備に対する考え

Q10:河川の改修や整備について、次のうちあなたのお考えに近いものはどちらですか。

- ・市民の河川整備に対する考えは、“河川の改修・整備は、そのために要する費用が増えたとしても、水辺の美しさ・潤いといったことにも配慮して行うべきである”(46%)が最も多い。

【回答率(%)】

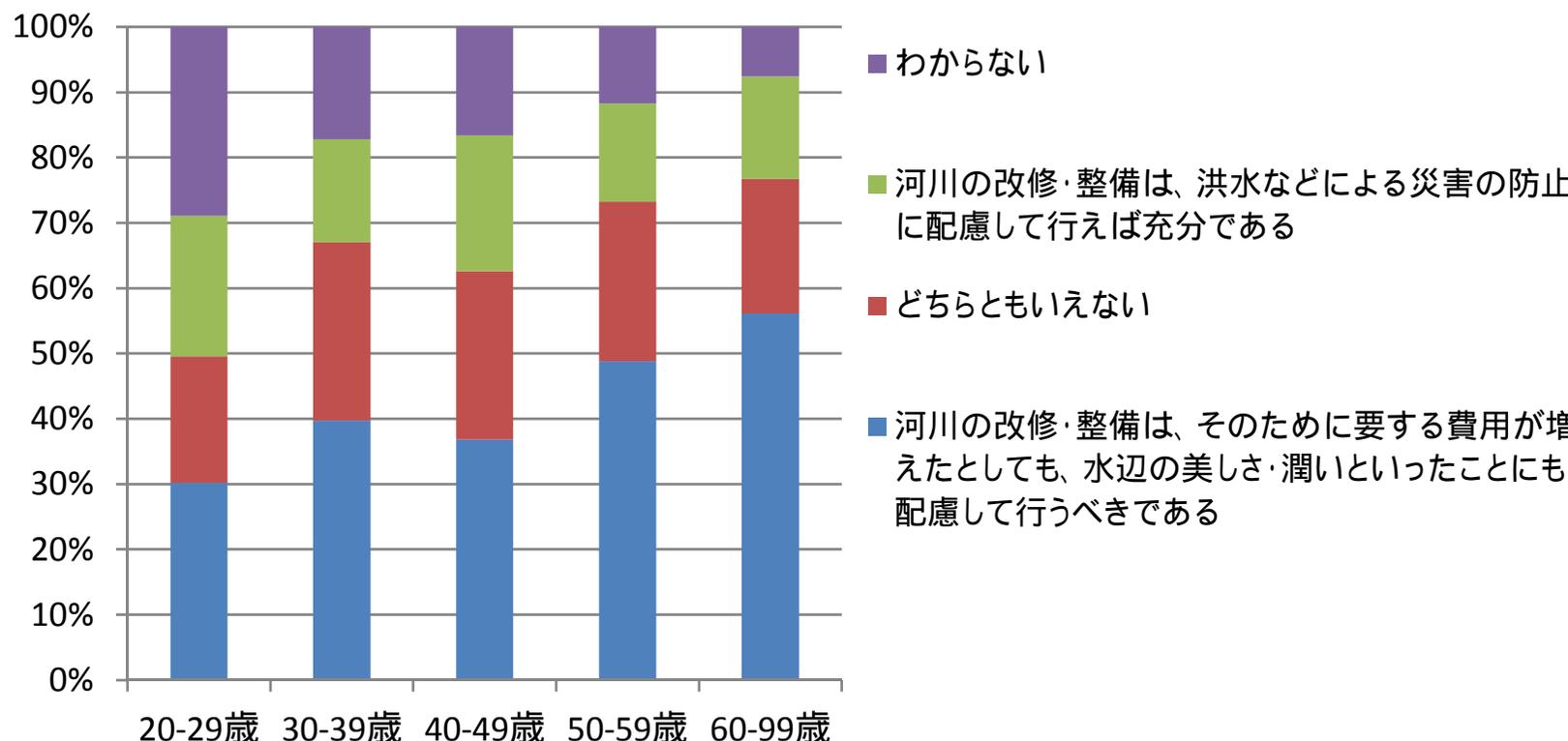


10 . 市民の河川整備に対する考え（年代別整理）

Q10:河川の改修や整備について、次のうちあなたのお考えに近いものはどちらですか。

- ・ 市民の河川整備に対する考えを年代別に整理すると、年代が上がるにつれて、“河川の改修・整備は、そのために要する費用が増えたとしても、水辺の美しさ・潤いといったことにも配慮して行うべきである”の回答が多くなる傾向が見られる。
- ・ 一方、若い年代ほど“わからない”の回答が多い。

【年代別回答率(%)】

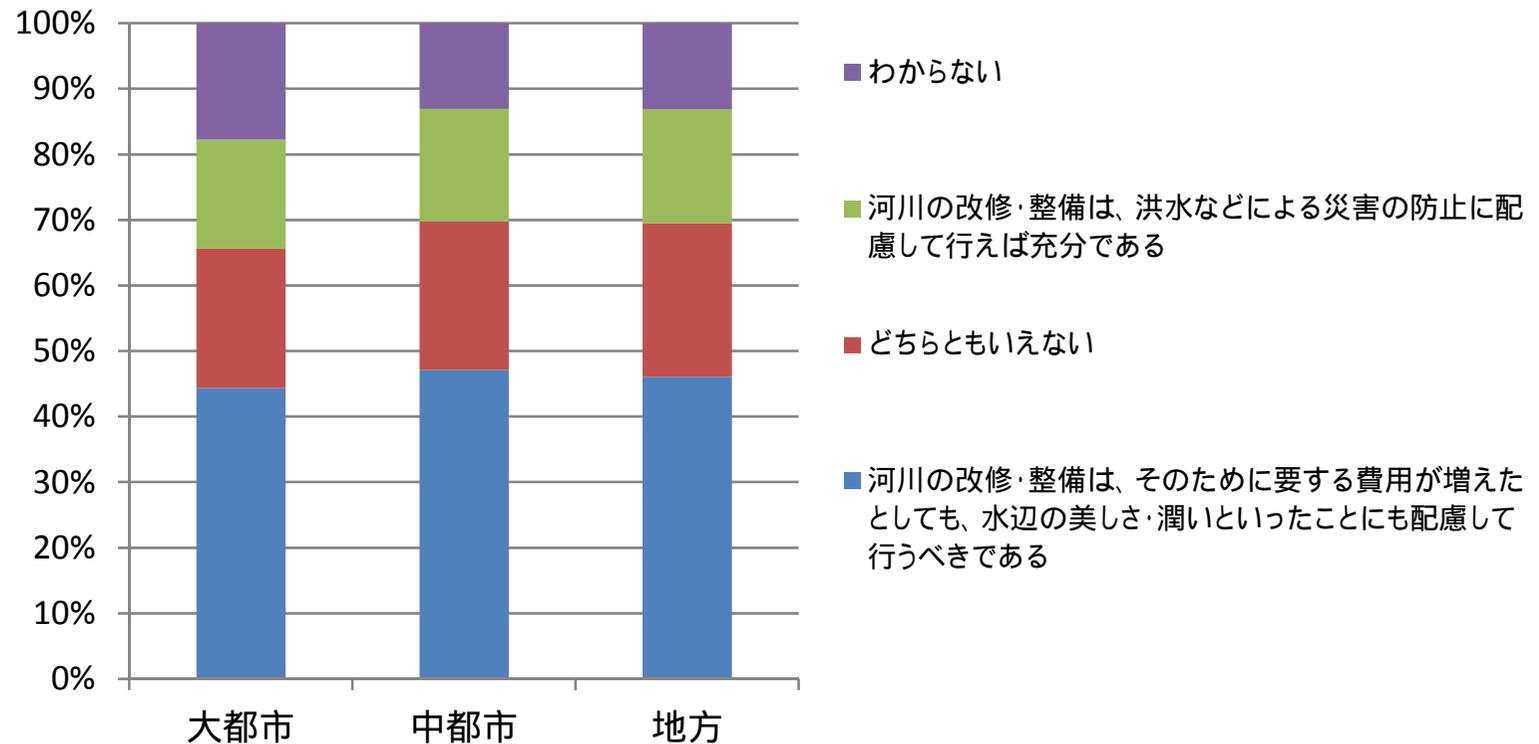


10. 市民の河川整備に対する考え（都市・地方別整理）

Q10:河川の改修や整備について、次のうちあなたのお考えに近いものはどちらですか。

- 市民の河川整備に対する考えを都市・地方別に整理すると、全体的な傾向に大きな違いは見られない。

【都市・地方別回答率(%)】



大都市：東京（回答数割合13%）
中都市：神奈川、大阪、愛知、埼玉、千葉（回答数割合30%）
地方：上記それ以外（回答数割合57%） 都道府県人口で設定

10 . 市民の河川整備に対する考え（過去調査結果との比較）

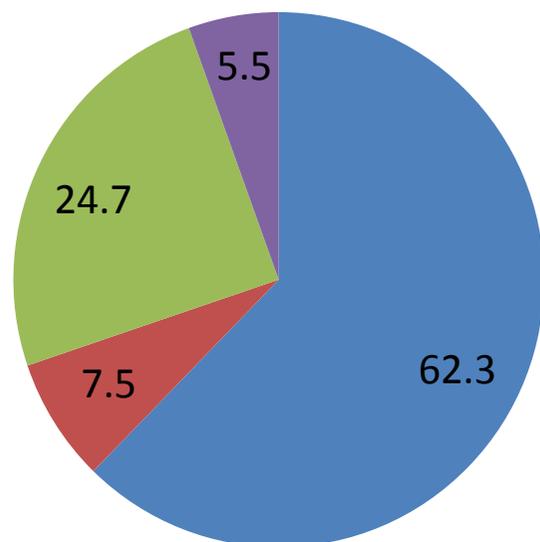
Q10:河川の改修や整備について、次のうちあなたのお考えに近いものはどちらですか。

- ・市民の河川整備に対する考えは、S63とH28ともに“河川の改修・整備は、そのために要する費用が増えたとしても、水辺の美しさ・潤いといったことにも配慮して行うべきである”が最も多い。

【回答率(%)】

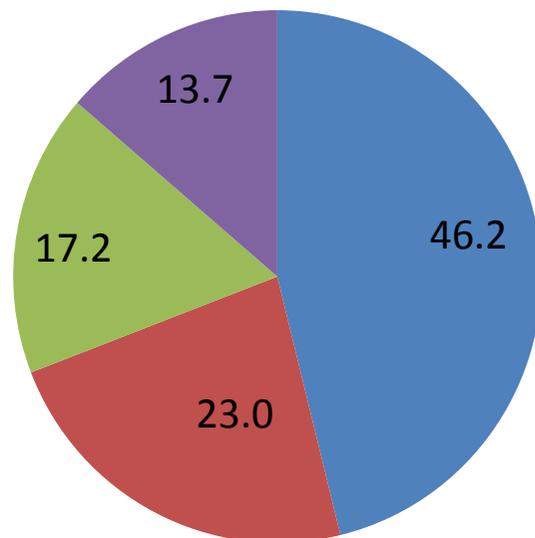
S63

n=3,817



H28

n=2,000



- 河川の改修・整備は、そのために要する費用が増えたとしても、水辺の美しさ・潤いといったことにも配慮して行うべきである
- どちらともいえない
- 河川の改修・整備は、洪水などによる災害の防止に配慮して行えば充分である
- わからない

10 . 市民の河川整備に対する考え（過去調査結果との比較）

Q10:河川の改修や整備について、次のうちあなたのお考えに近いものはどちらですか。

参考：“わからない”の回答を除いた場合

・市民の河川整備に対する考えについて、“わからない”の回答を除いて整理すると、S63に比べてH28は、“**どちらともいえない**”の回答が大きく増加している。

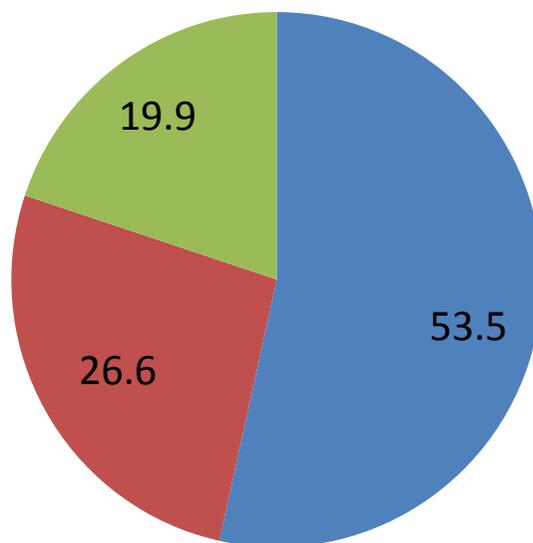
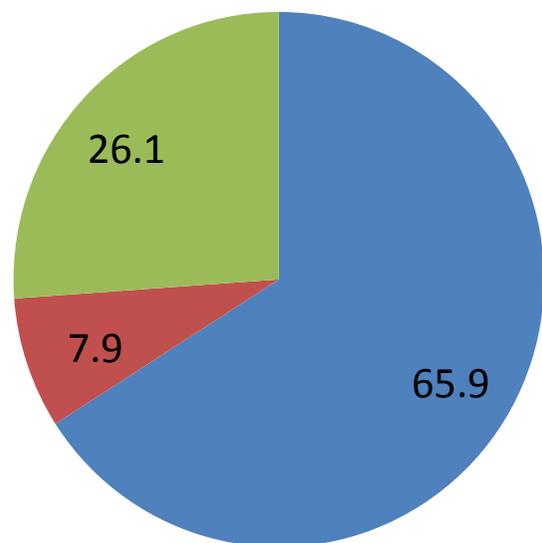
【回答率(%)】

S63

n=3,607

H28

n=1,541



- 河川の改修・整備は、そのために要する費用が増えたとしても、水辺の美しさ・潤いといったことにも配慮して行うべきである
- どちらともいえない
- 河川の改修・整備は、洪水などによる災害の防止に配慮して行えば充分である

11. 市民の川に対する意識（まとめ）

市民の川のイメージ

- ・身近な川が”都市部”の川であるのに対して、理想の川が”**緑豊かな風景**”であることから、自然豊かな川への憧れが大きいことが伺える。
- ・この傾向は、年代や都市・地方別で大きな違いは見られない。

市民の川への要望

- ・市民の川への要望は、普段の生活の中での散策など日常的な利用や自然・景観など川そのものの良さを求めるものが大きくなってきている。
- ・環境に配慮した川づくりに対する市民の要望は過去に比べて減少したものの、依然として高いことが伺える。

身近な川のイメージ

1位 緑豊かな風景（都市部）



2位 護岸が目立つ河川（都市部）



3位 公園的な風景（都市部）



理想の川のイメージ

1位 緑豊かな風景（山間部）



2位 緑豊かな風景（都市部）



3位 緑豊かな風景（渓流部）

